

令和7年度第3回
八戸市子ども・子育て会議

資料5

八戸市 こども・若者アンケート調査

－調査結果報告書 概要版－

令和7年9月

八戸市

目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象及び有効回収数（率）	1
3	調査方法	1
4	調査期間	1
5	調査結果の見方	1
II	調査結果	2
1	自身のことや家族の状況について	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	3
(3)	同居している人	4
(4)	職業	5
(5)	利用したい就労支援	6
2	日頃の意識や生活について	7
(1)	日頃の意識や考えについて	7
(2)	生活の満足度	8
(3)	安心する居場所について	9
(4)	希望の居場所	10
(5)	困った時に助けてくれると思う人	11
(6)	学校生活と社会貢献について	12
(7)	社会貢献について	12
(8)	自分の将来について明るい希望を持っているか	13
(9)	外出頻度	13
(10)	落ち込んだ経験	14
(11)	落ち込んだ状態から元に戻った経験	14
(12)	落ち込んだ状態から元にもどったきっかけ	15
(13)	社会生活・日常生活を円滑に送れなかった経験	16
(14)	社会生活や日常生活が困難である主な原因	16
(15)	社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善した経験	17
(16)	社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと	17
(17)	悩みや困りごと	18
(18)	落ち込んだ時、相談したい人や場所	19
(19)	誰にも相談したくないと思う理由	20
(20)	家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所を知っているか	21
(21)	こども・若者対象の相談支援機関等の認知度	21
(22)	こども・若者を対象とした相談支援機関等の利用状況	22
(23)	こども・若者を対象とした相談支援機関等を利用したいと思うか	22

3	結婚に対する考え方について	23
	(1) 婚姻の状況.....	23
	(2) 結婚に対する考え.....	23
	(3) 一生結婚するつもりがない理由.....	24
	(4) 結婚に対するイメージ.....	24
	(5) 結婚につながると思う出会いのシーン.....	25
4	子育てに対する考え方について	26
	(1) こどもを持つことについて.....	26
	(2) どのような環境を整えればもう1人以上のこどもを持ちたいか.....	26
	(3) こどもを持つことや子育てに対して前向きになれる要素や行政に.....	27
	求める支援施策.....	27
5	八戸市やこどもまんなか社会について	28
	(1) 八戸市に今後も住みたいか.....	28
	(2) 八戸市の良いと思うところ、力を入れてほしいところ.....	29
	(3) 遊び・娯楽や体験活動の機会が十分にあると感じているか.....	31
	(4) 八戸市に愛着や親しみを感じているか.....	31
	(5) 自分の意見を聴いてもらえていると思うか.....	32
	(6) 市や学校、地域の取り組みに対して、意見を言ったり意思決定に参加したいと思うか.....	33
	(7) こども・若者の意見が市の取り組みやまちづくりに反映されるために、どのような取り組みがあるとよいと思うか.....	34

I 調査概要

1 調査の目的

こども・若者の意識に関わる人生観・幸福感、居場所、他者との関わり方、社会参加、将来像、普段の活動・外出状況、困難に直面した経験、相談・支援、結婚・出産・子育て、就労・働き方など、こども・若者の育成支援に関する状況を把握することを目的として実施。

2 調査対象及び有効回収数（率）

調査種別	対象者	配布数	総回収数		有効回収数		有効回収数（率）
こども・若者 アンケート調査	10～17 歳	2,500 件	郵送	376	郵送	375	1,010 件（40.4%）
			WEB	639	WEB	635	
			計	1,015	計	1,010	
	18～39 歳	2,500 件	郵送	187	郵送	185	726 件（29.0%）
			WEB	541	WEB	541	
			計	728	計	726	

3 調査方法

郵送配布、郵送回収（WEB 回答併用）

4 調査期間

令和7年7月9日（水）～令和7年7月25日（金）まで

※遅れ票として、令和7年8月8日（金）までの回答を集計に含めた

5 調査結果の見方

- ① グラフの「n（number of cases）」はアンケートの有効回収数を示している。
- ② 割合はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が 100.0% にならない場合もある。
- ③ 複数回答の場合、回答の合計割合が 100.0%を超える場合がある。
- ④ 設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化している場合がある。
- ⑤ 調査結果において表記されている「< >」は、類似した複数の選択肢を合算した場合に使用している。
- ⑥ 10～17 歳と 18～39 歳で同様に設定している設問については、原則として 18～39 歳の設問文・選択肢を採用し、問番号は「18～39 歳（10～17 歳）」の形式で併記して掲載している。

Ⅱ 調査結果

1 自身のことや家族の状況について

(1) 性別

10～17 歳

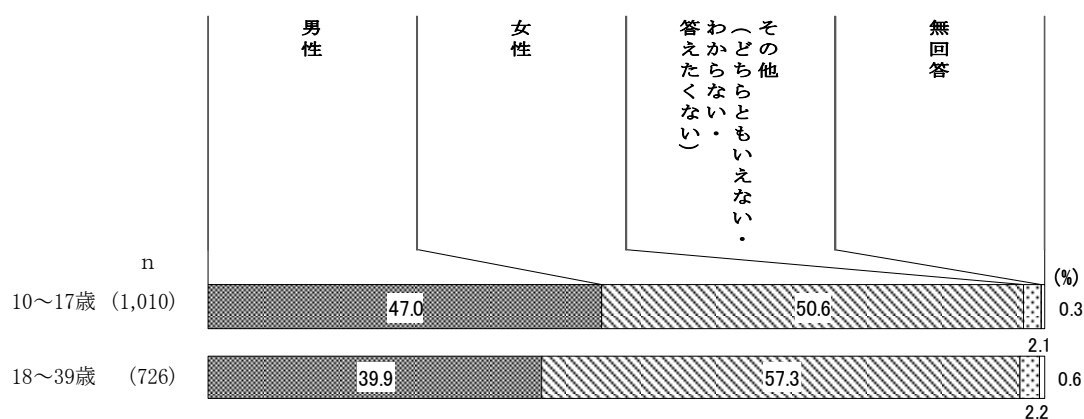
18～39 歳

▶性別について、10～17 歳では、「男性」が 47.0%、「女性」が 50.6%となっている。

▶18～39 歳では、「男性」が 39.9%、「女性」が 57.3%となっている。

問1（問1）あなたの性別をお答えください。

（○は1つ）



(2) 年齢

10～17 歳

18～39 歳

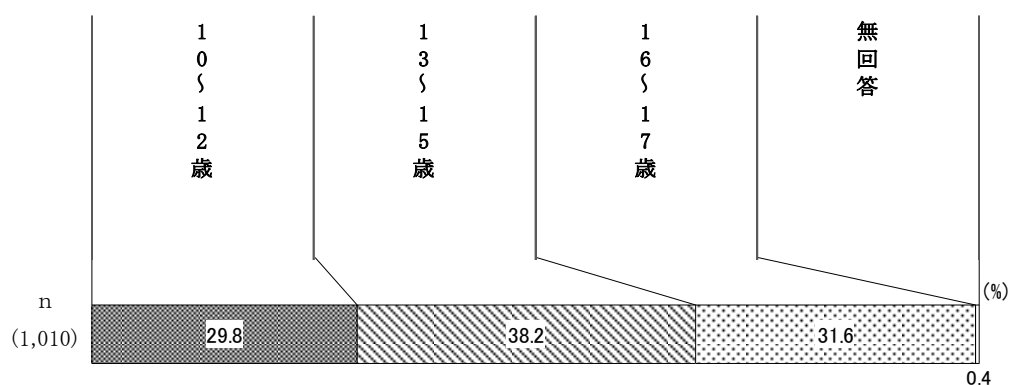
- ▶年齢について、10～17 歳では、「13～15 歳」が 38.2%と最も高く、次いで「16～17 歳」(31.6%)、「10～12 歳」(29.8%) となっている。
- ▶18～39 歳では、「35～39 歳」が 32.6%と最も高く、次いで「30～34 歳」(25.2%)、「25～29 歳」(20.1%) となっている。

問2（問2）あなたの年齢をお答えください。

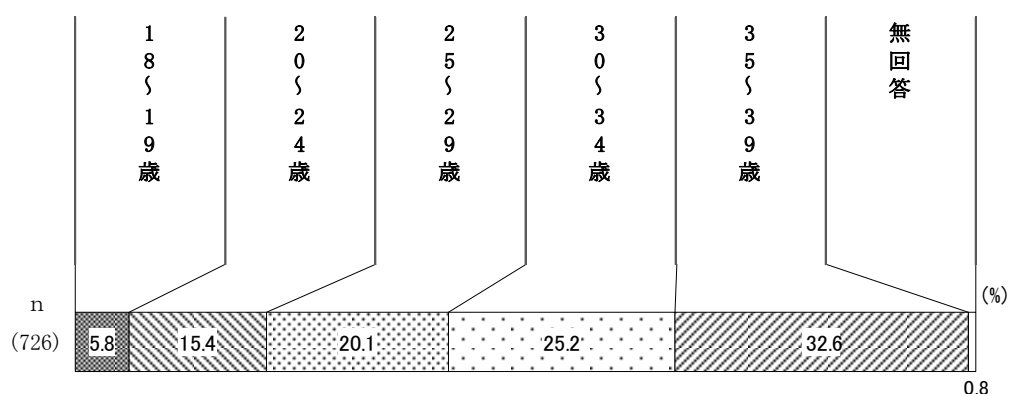
※令和7年4月1日現在の年齢をお答えください。

(数字でご記入ください)

10～17 歳



18～39 歳



(3) 同居している人

10～17 歳

18～39 歳

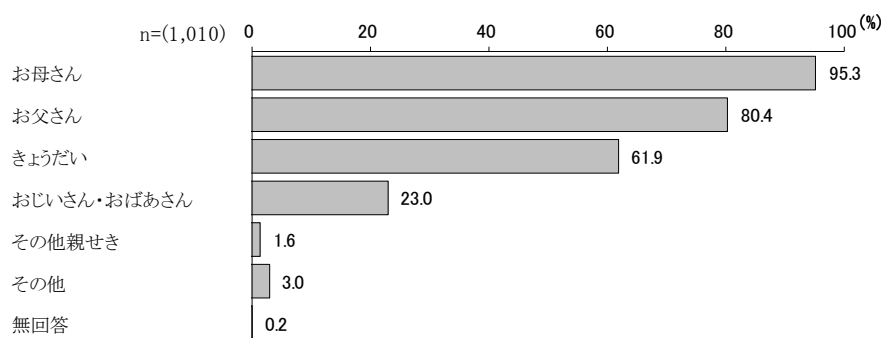
- ▶同居している人について、10～17 歳では、「お母さん」が 95.3%と最も高く、次いで「お父さん」（80.4%）、「きょうだい」（61.9%）となっている。
- ▶18～39 歳では、「配偶者・パートナー」が 40.1%と最も高く、次いで「母」（39.1%）、「あなたの子」（34.0%）となっている。

問3（問3）現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

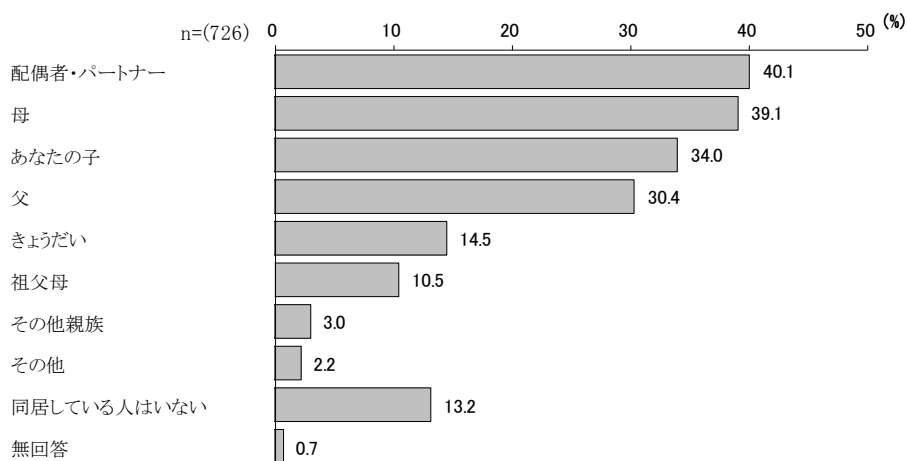
※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「その他」をお選びください。

（〇はいくつでも）

10～17 歳



18～39 歳



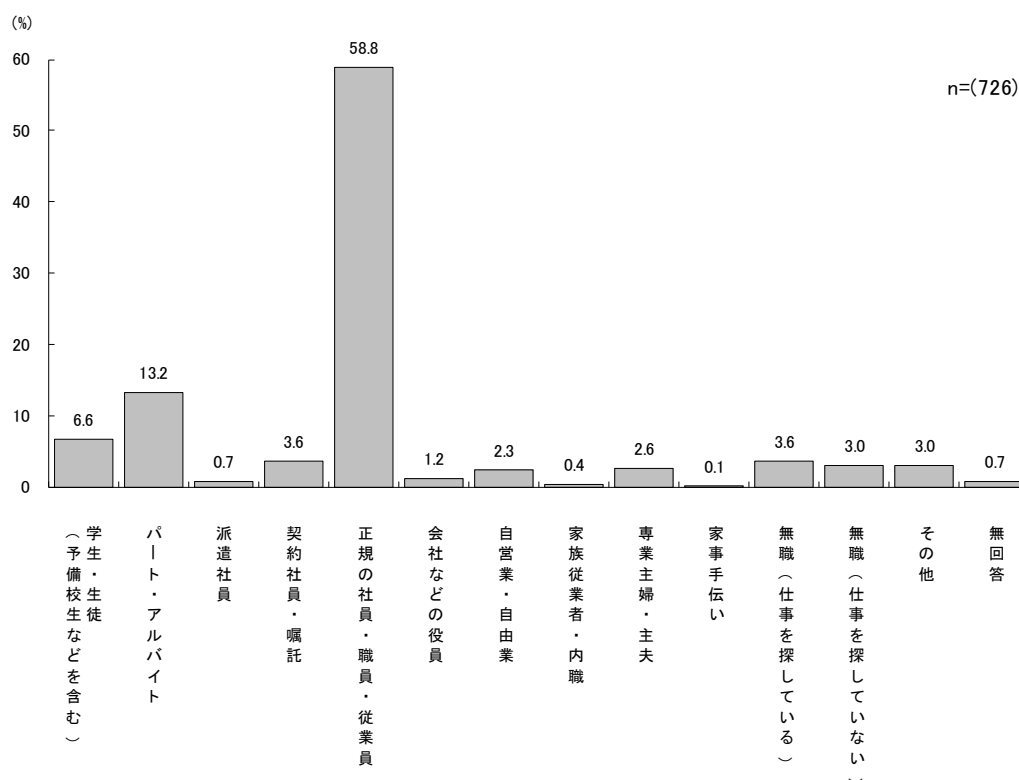
(4) 職業

18～39 歳

▶職業について、「正規の社員・職員・従業員」が 58.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト（13.2%）」、「学生・生徒（予備校生などを含む）」（6.6%）となっている。

問4 あなたの現在の仕事をお答えください。

(○は1つ)



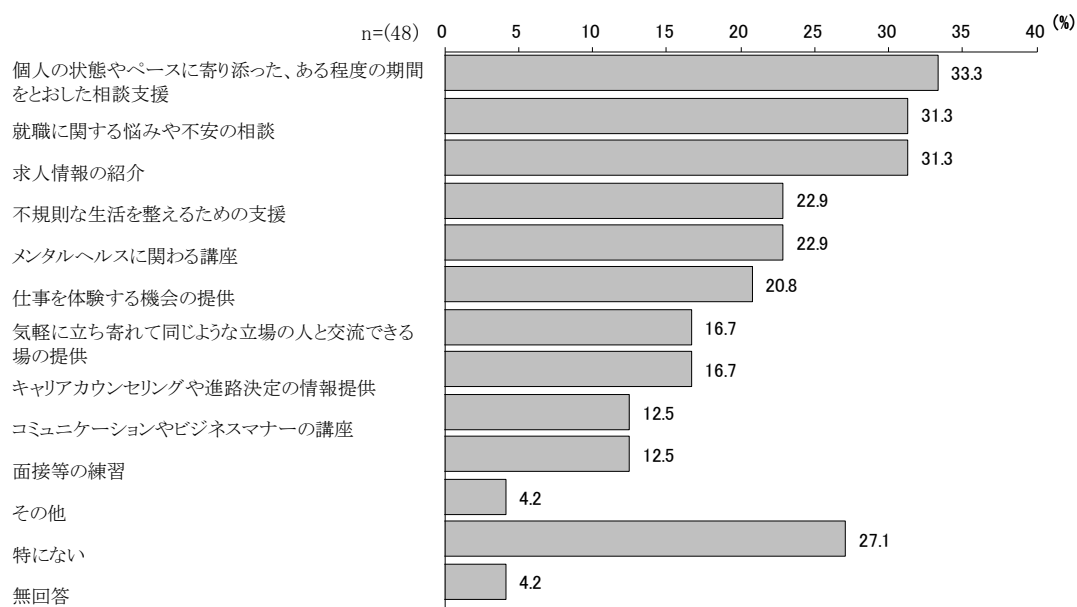
(5) 利用したい就労支援

18～39 歳

▶利用したい就労支援について、「個人の状態やペースに寄り添った、ある程度の期間をととした相談」が 33.3%と最も高く、次いで「就職に関する悩みや不安の相談」、「求人情報の紹介」（ともに 31.3%）となっている。

【問4で「無職（仕事を探している）」「無職（仕事を探していない）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問5 就労することに関して、あなたはどのような支援であれば利用してみたいと思いますか。
(○はいくつでも)



2 日頃の意識や生活について

(1) 日頃の意識や考えについて

10～17 歳

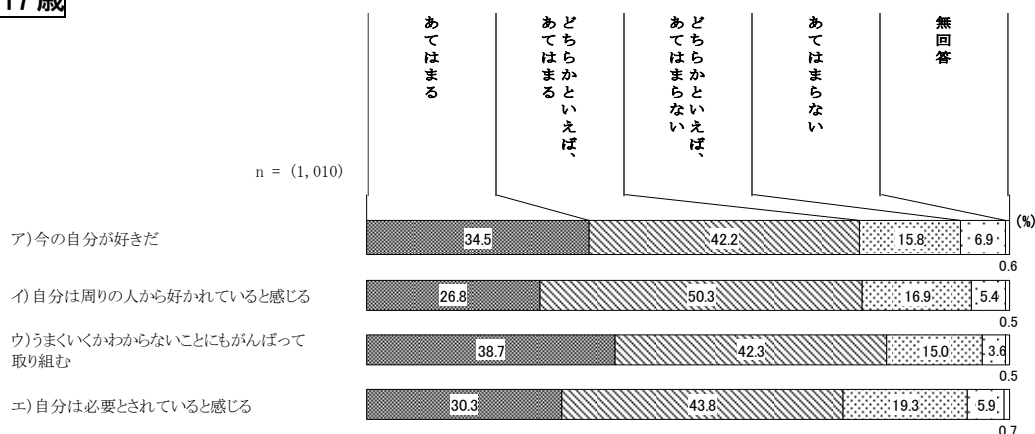
18～39 歳

- ▶ 日頃の意識や考えについて、10～17 歳では、すべての項目で《あてはまる》（「あてはまる」+「どちらかといえば、あてはまる」）が7割を超えており、特に「ウ）うまくいくかわからないことにもがんばって取り組む」は81.0%と最も高くなっている。
- ▶ 18～39 歳では、「ア）自分には自分らしさというものがあると思う」では《あてはまる》が7割を超えており、79.9%と最も高くなっている。一方、「努力すれば希望する職業につくことができる」、「今の自分が好きだ」等の項目では《あてはまる》が6割を下回っている。

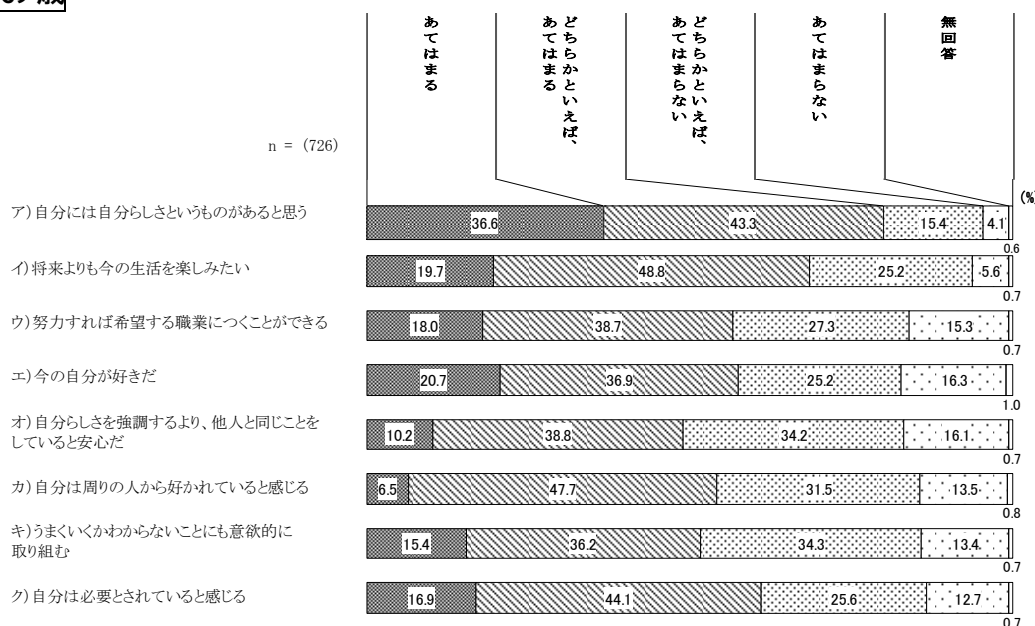
問6（問4）あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。

（それぞれ○は1つ）

10～17 歳



18～39 歳



(2) 生活の満足度

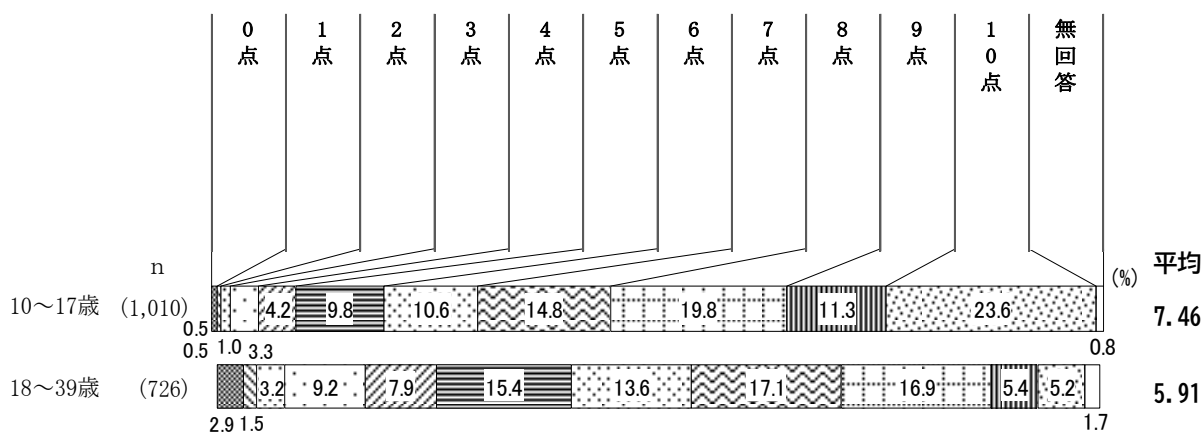
10～17 歳

18～39 歳

- ▶生活の満足度について、10～17 歳では、「10 点」が 23.6%と最も高く、次いで「8 点」（19.8%）、「7 点」（14.8%）となっており、平均は 7.46 点となっている。
- ▶18～39 歳では、「7 点」が 17.1%と最も高く、次いで「8 点」（16.9%）、「5 点」（15.4%）となっており、平均は 5.91 点となっている。

問 7（問 5）あなたは、あなたの生活にどのくらい満足していますか。

（「まったく満足していない」を 0 点、「十分に満足している」を 10 点として、○は 1 つ）



(3) 安心する居場所について

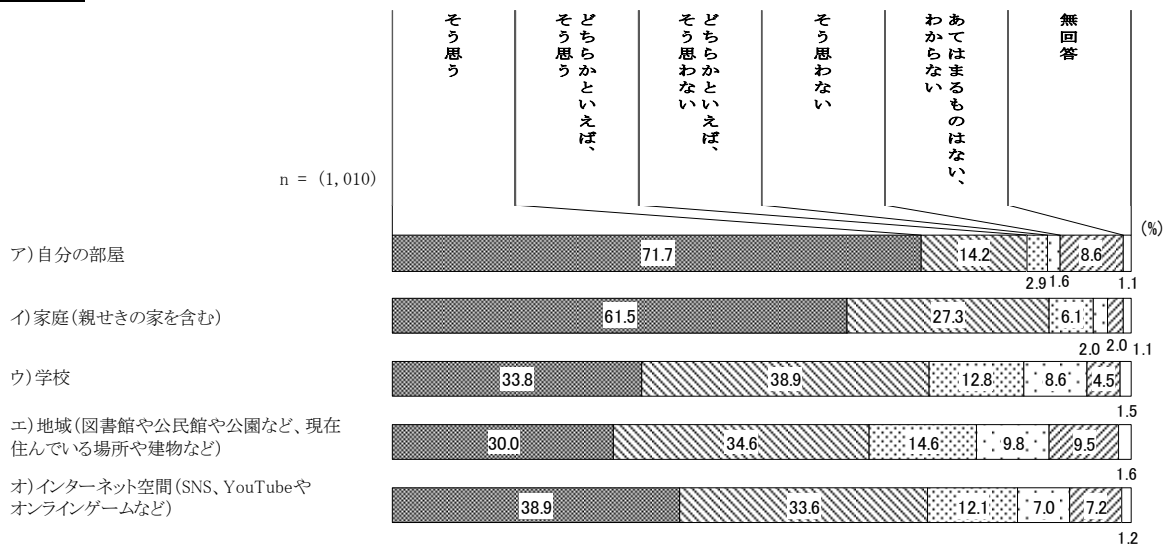
10～17 歳

18～39 歳

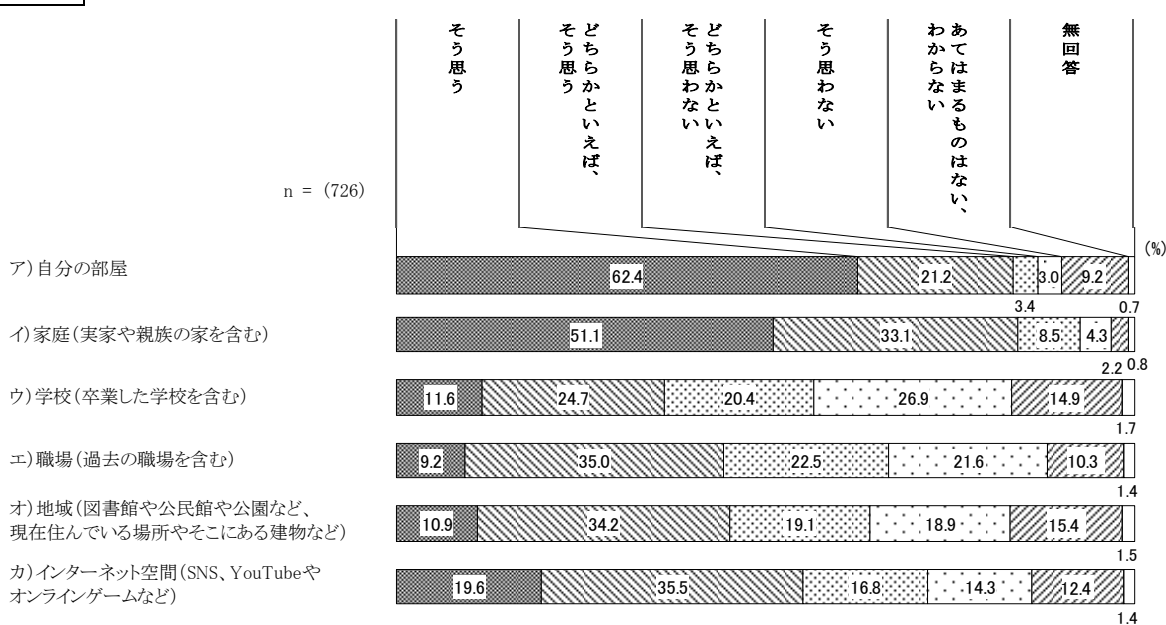
- ▶ 安心する居場所について、10～17 歳では、「ア）自分の部屋」「イ）家庭（親せきの家を含む）」では《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が 8 割を超えており、特に「イ）家庭（親せきの家を含む）」が 88.8%と最も高くなっている。一方、「ウ）地域」では、64.6%とほかの項目に比べ低くなっている。
- ▶ 18～39 歳では、「ア）自分の部屋」「イ）家庭（実家や親族の家を含む）」では《そう思う》が 8 割を超えており、特に「イ）家庭（実家や親族の家を含む）」が 84.2%と最も高くなっている。一方、「ウ）学校（卒業した学校を含む）」「エ）職場（過去の職場を含む）」「オ）地域」では 5 割以下と、ほかの項目に比べ低くなっている。

問 8（問 6） 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。
(それぞれ○は1つ)

10～17 歳



18～39 歳



(4) 希望の居場所

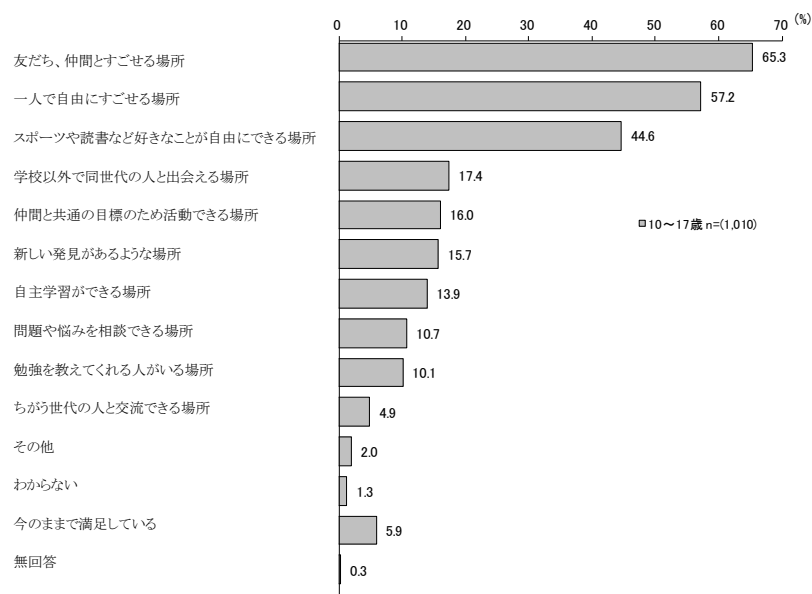
10～17 歳

18～39 歳

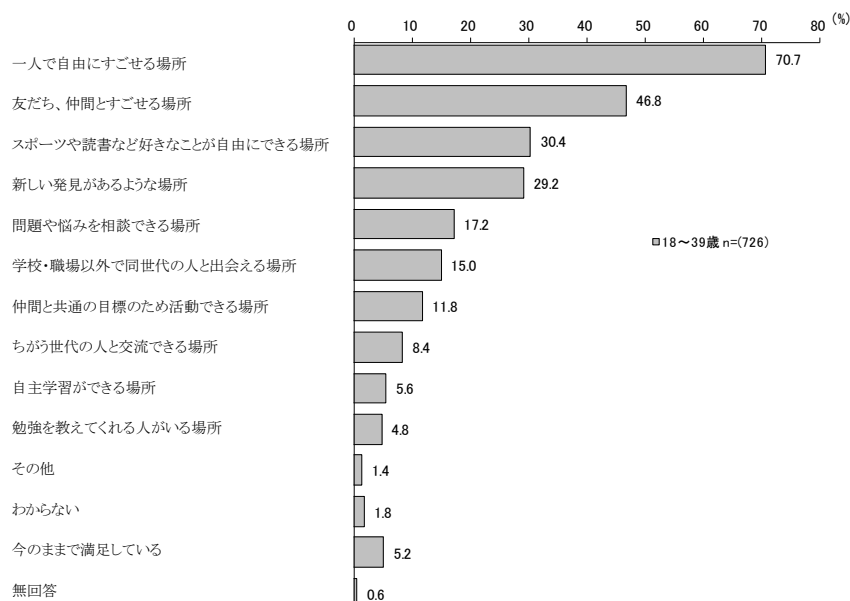
- ▶希望の居場所について、10～17 歳では、「友だち、仲間とすごせる場所」が 65.3%と最も高く、次いで「一人で自由にすごせる場所」（57.2%）、「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」（44.6%）となっている。
- ▶18～39 歳では、「一人で自由にすごせる場所」が 70.7%と最も高く、次いで「友だち、仲間とすごせる場所」（46.8%）、「スポーツや読書など好きなことが自由にできる場所」（30.4%）となっている。

問9（問7）あなたは、どのような“居場所”があればいいと思いますか。（〇は3つまで）

10～17 歳



18～39 歳



(5) 困った時に助けしてくれると思う人

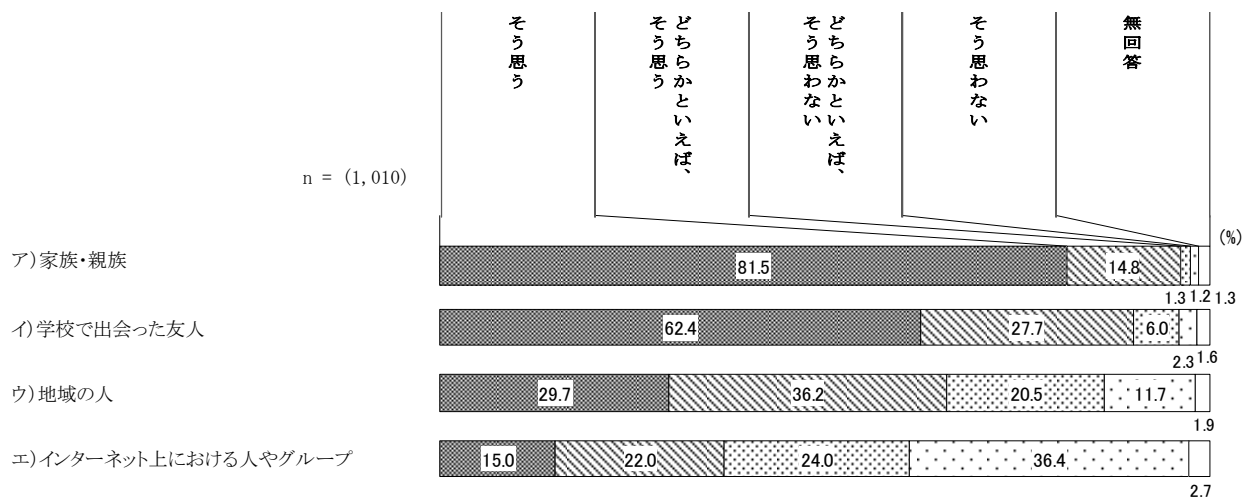
10～17 歳

18～39 歳

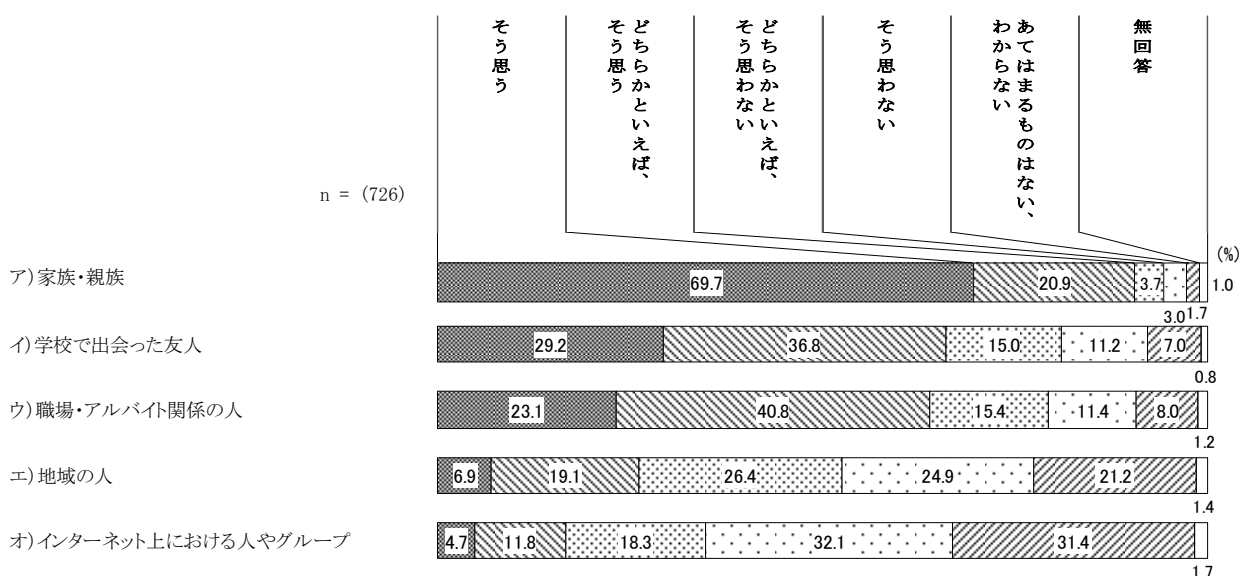
- ▶ 困った時に助けしてくれると思う人について、10～17 歳では、「ア）家族・親族」、「イ）学校で出会った友人」では《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が9割を超えており、特に「ア）家族・親族」は96.3%と最も高くなっている。一方、「ウ）地域」、「エ）インターネット上における人やグループ」では、7割以下とほかの項目に比べ低くなっている。
- ▶ 18～39 歳では、「ア）家族・親族」では《そう思う》が90.6%と最も高く、次いで「イ）学校で出会った友人」（66.0%）、「ウ）職場・アルバイト関係の人」（63.9%）となっている。一方、「エ）地域」、「オ）インターネット上における人やグループ」では、3割以下とほかの項目に比べ低くなっている。

問 10（問8） 次の人達は、あなたが困ったときに助けしてくれると思いますか。
（それぞれ○は1つ）

10～17 歳



18～39 歳



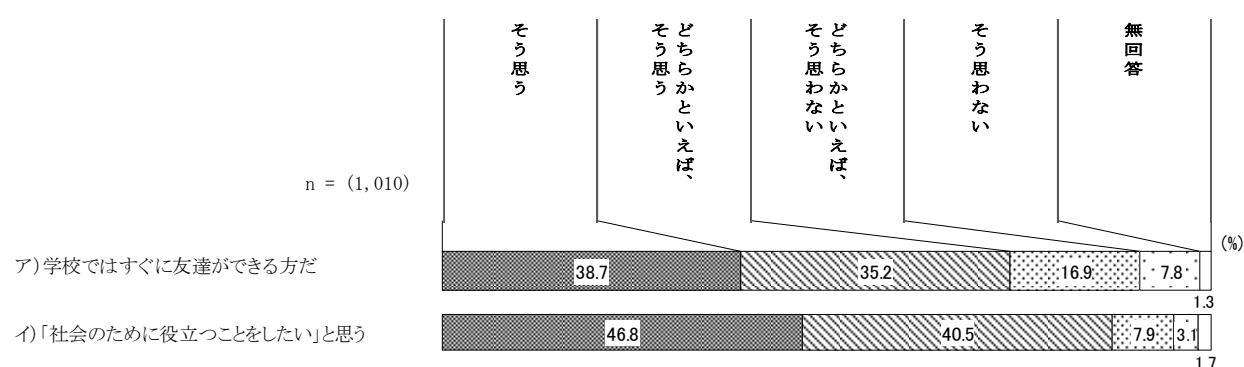
(6) 学校生活と社会貢献について

10～17 歳

- ▶ 学校生活と社会貢献について、「ア) 学校ではすぐに友達ができる方だ」では《そう思う》(「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」)が 73.9%、《そう思わない》(「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」)が 24.7%となっている。
- ▶ 「イ) 「社会のために役立つことをしたい」と思う」では《そう思う》が 87.3%、《そう思わない》が、11.0%となっている。

(問9) 次のことについて、あなたはどのように思いますか。

(それぞれ○は1つ)



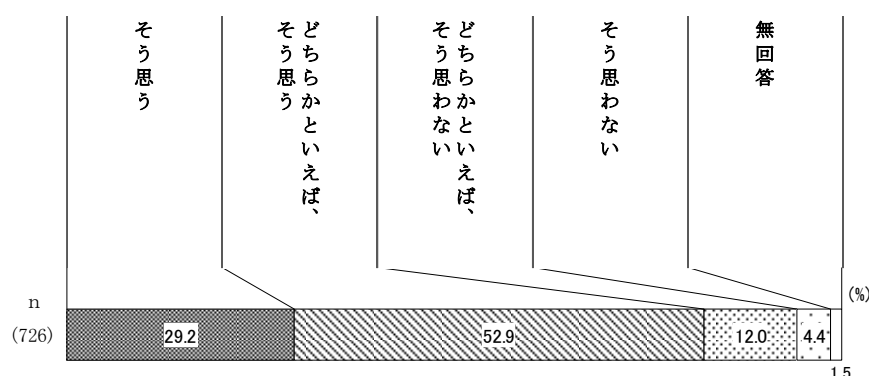
(7) 社会貢献について

18～39 歳

- ▶ 社会貢献について、《そう思う》(「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」)が 82.1%、《そう思わない》(「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」)が 16.4%となっている。

問11 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。

(○は1つ)



※社会貢献に関する設問は 10～17 歳、18～39 歳で同様の内容である。ただし、10～17 歳はマトリクス形式の設問としたため、結果は別掲とした。

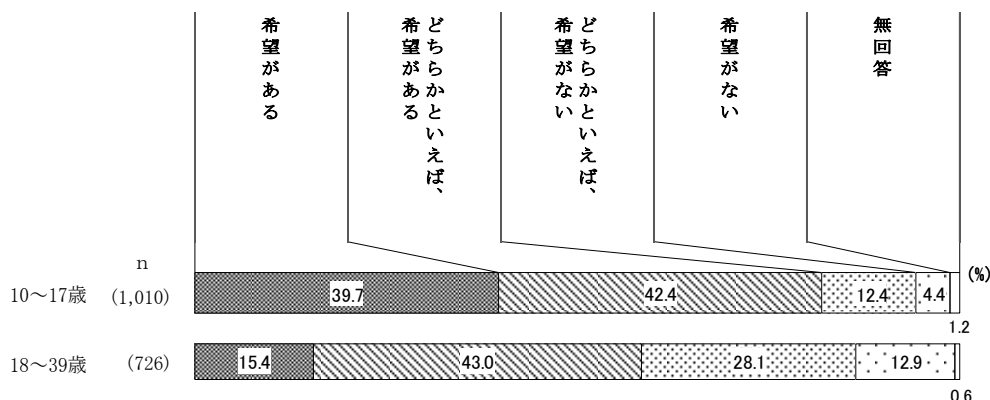
(8) 自分の将来について明るい希望を持っているか

10～17 歳

18～39 歳

- ▶自分の将来について明るい希望を持っているかについて、10～17 歳では、《希望がある》（「希望がある」+「どちらかといえば、希望がある」）が 82.1%、《希望がない》（「希望がない」+「どちらかといえば、希望がない」）が 16.8%となっている。
- ▶18～39 歳では、《希望がある》が 58.4%、《希望がない》が 41.0%となっている。

問 12（問 10）あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。（○は 1 つ）

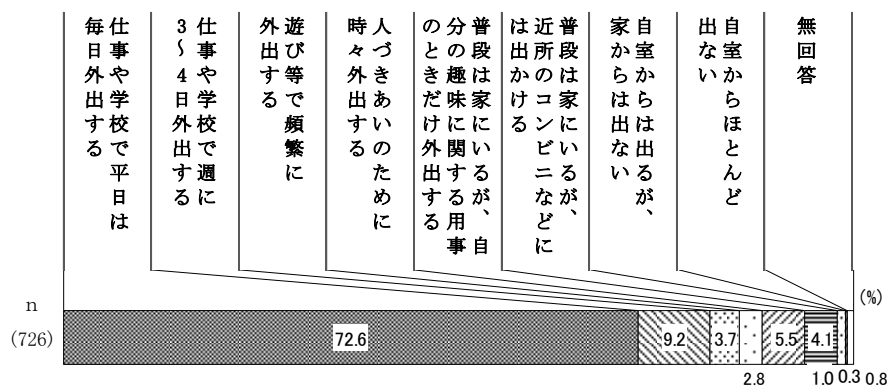


(9) 外出頻度

18～39 歳

- ▶外出頻度について、「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が 72.6%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に 3～4 日外出する」（9.2%）、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」（5.5%）となっている。

問 13 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。（○は 1 つ）

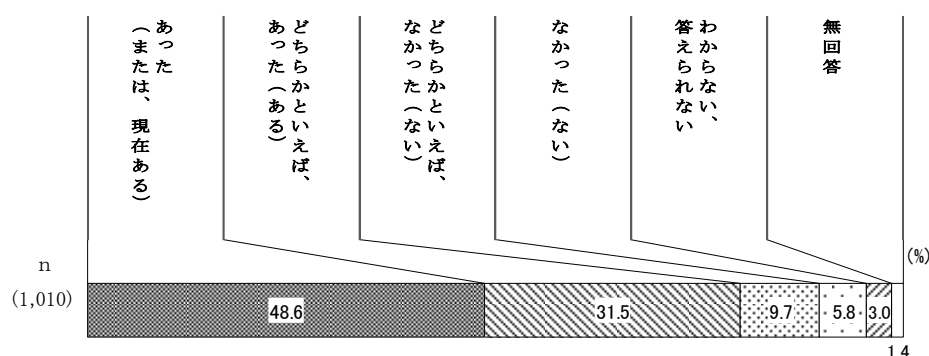


(10) 落ち込んだ経験

10～17 歳

- ▶ 落ち込んだ経験について、《あった（または、現在ある）》（「あった（または、現在ある）」+「どちらかといえば、あった（ある）」）が 80.1%、《なかった》（「なかった（ない）」+「どちらかといえば、なかった」）が 15.5%となっている。

(問 11) あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ経験があったと思いますか。または、現在、ありますか。(○は1つ)



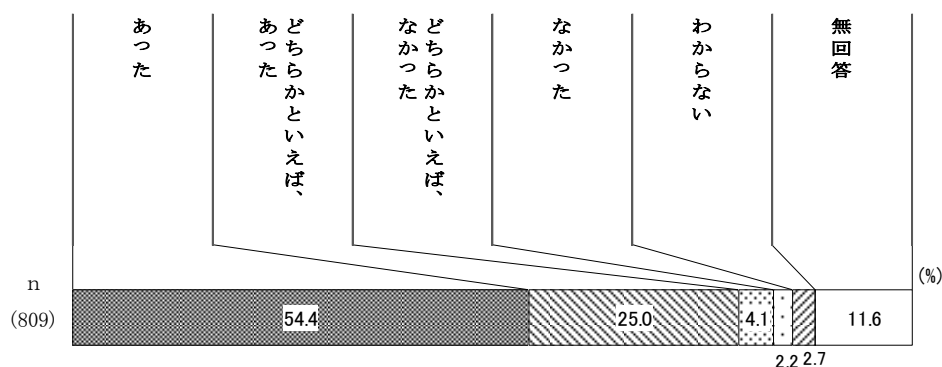
(11) 落ち込んだ状態から元に戻った経験

10～17 歳

- ▶ 落ち込んだ状態から元に戻った経験について、《あった》（「あった」+「どちらかといえば、あった」）が 79.4%、《なかった》（「なかった」+「どちらかといえば、なかった」）が 6.3%となっている。

【問 11 で「あった（または、現在ある）」「どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください。】

(問 12) あなたは今までに、ものごとがうまくいかず落ち込んだ状態から元にもどった経験があったと思いますか。最もあてはまるものを選んでください。(○は1つ)



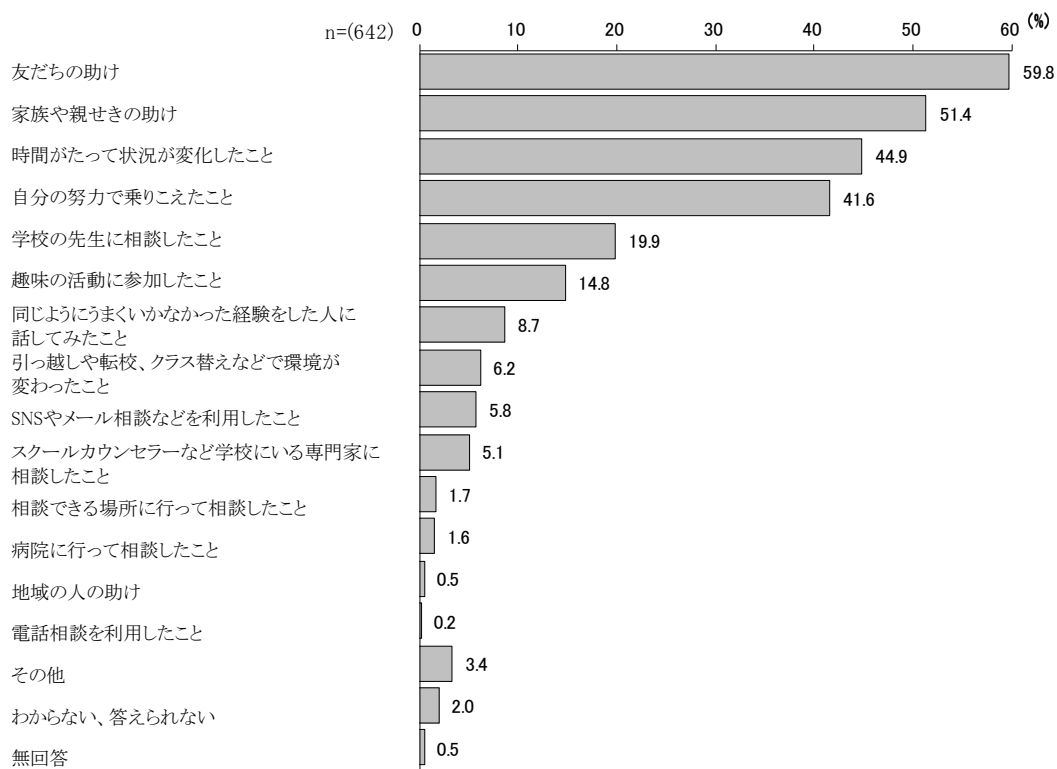
(12) 落ち込んだ状態から元にもどったきっかけ

10～17 歳

▶ 落ち込んだ状態から元にもどったきっかけについて、「友だちの助け」が 59.8%と最も高く、次いで「家族や親せきの助け」(51.4%)、「時間がたって状況が変化したこと」(44.9%)となっている。

【問 12 で「あった」「どちらかといえば、あった」を選んだ方のみ、お答えください。】

(問 13) 落ち込んだ状態から元にもどったのは、どのようなことがきっかけだったと思いますか。
(〇はいくつでも)



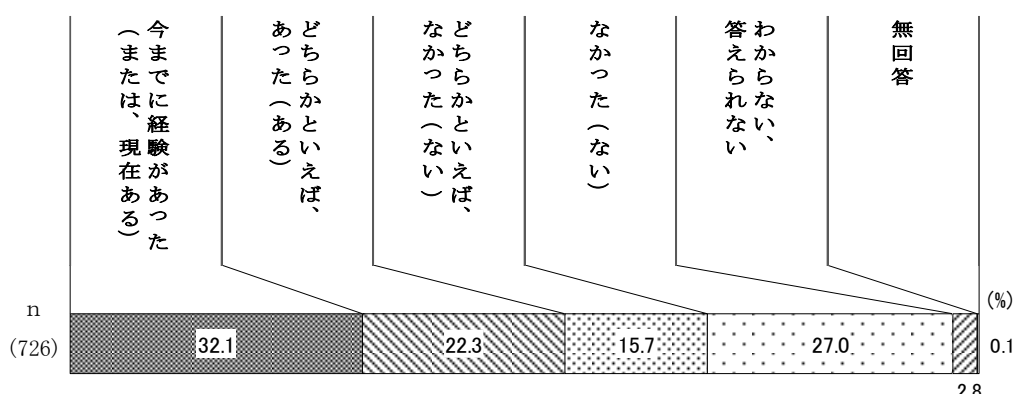
(13) 社会生活・日常生活を円滑に送れなかった経験

18～39 歳

- ▶社会生活・日常生活を円滑に送れなかった経験について、《今までに経験があった（または、現在ある）》（「今までに経験があった（または、現在ある）」+「どちらかといえば、あった（ある）」）が 54.4%、《なかった（ない）》（「なかった（ない）」+「どちらかといえば、なかった（ない）」）が 42.7%となっている。

問 14 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることできなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。

(○は1つ)



(14) 社会生活や日常生活が困難である主な原因

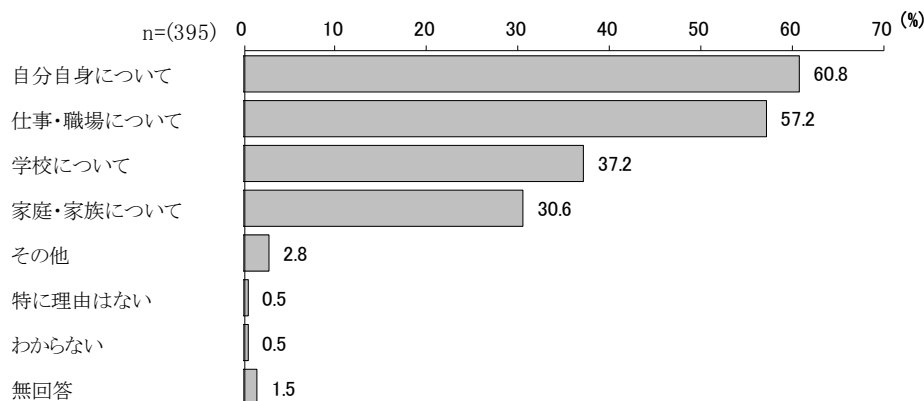
18～39 歳

- ▶社会生活や日常生活が困難である主な原因について、「自分自身について」が 60.8%と最も高く、次いで「仕事・職場について」（57.2%）、「学校について」（37.2%）となっている。

【問 14 で「今までに経験があった（または、現在ある）」「どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 15 そうした問題を経験した、または現在経験している主な原因は何ですか。

(○はいくつでも)



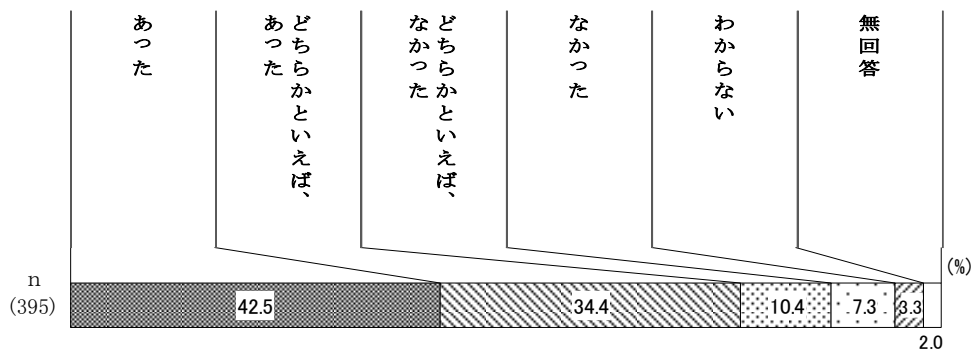
(15) 社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善した経験

18～39 歳

▶ 社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善した経験について、《あった》（「あった」+「どちらかといえば、あった」）が 76.9%、《なかった》（「なかった」+「どちらかといえば、なかった」）が 17.7%となっている。

【問 14 で「今までに経験があった（または、現在ある）」「どちらかといえば、あった（ある）」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 16 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。（○は 1 つ）



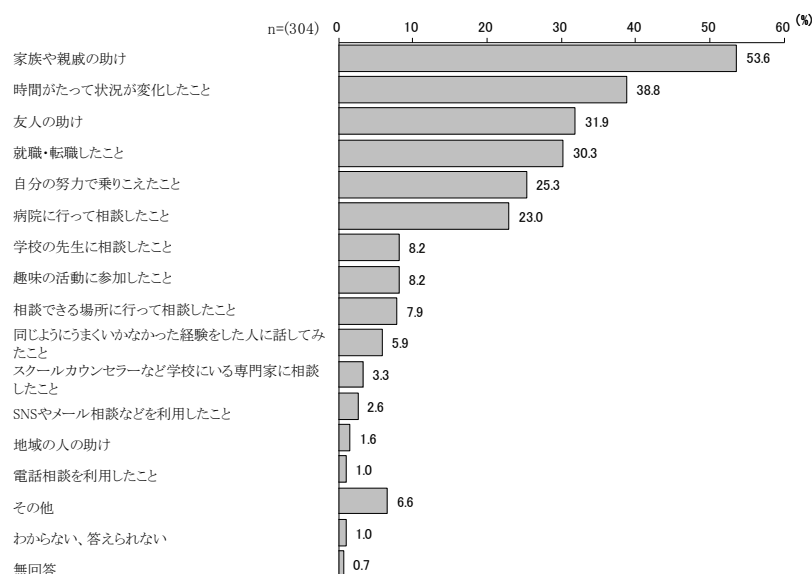
(16) 社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと

18～39 歳

▶ 社会生活や日常生活がうまく送れなかった状態が改善したきっかけや改善に役立ったことについて、「家族や親戚の助け」が 53.6%と最も高く、次いで「時間がたって状況が変化したこと」（38.8%）、「友人の助け」（31.9%）となっている。

【問 16 で「あった」「どちらかといえば、あった」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 17 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いませんか。（○はいくつでも）



(17) 悩みや困りごと

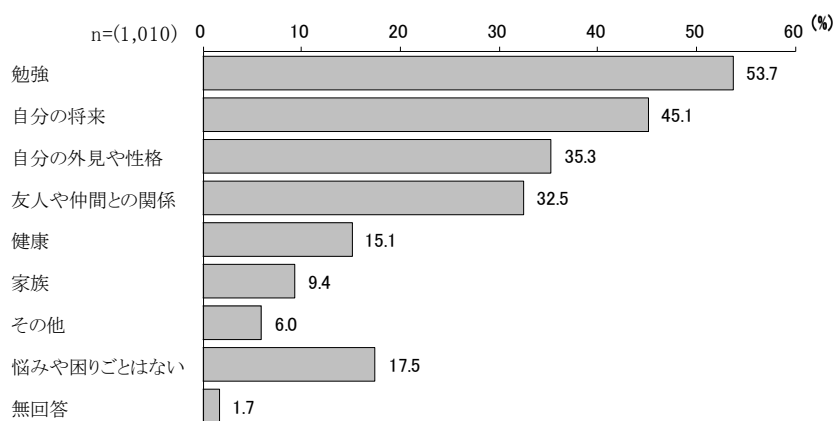
10～17 歳

18～39 歳

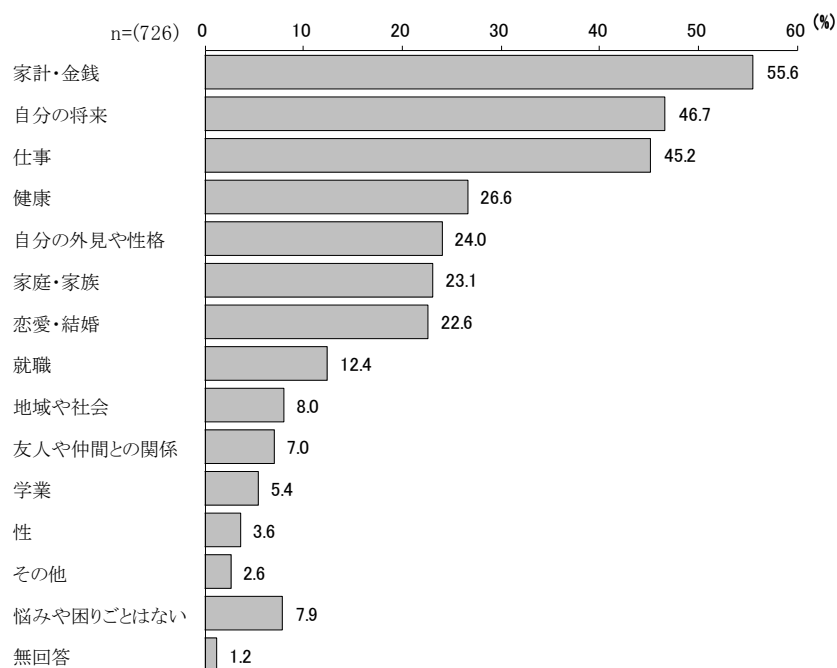
- ▶ 悩みや困りごとについて、10～17 歳では、「勉強」が 53.7%と最も高く、次いで「自分の将来」(45.1%)、「自分の外見や性格」(35.3%) となっている。
- ▶ 18～39 歳では、「家計・金銭」が 55.6%と最も高く、次いで「自分の将来」(46.7%)、「仕事」(45.2%) となっている。

問 18 (問 14) あなたはいま、どんなことに悩んだり困ったりしていますか。(〇はいくつでも)

10～17 歳



18～39 歳



(18) 落ち込んだ時、相談したい人や場所

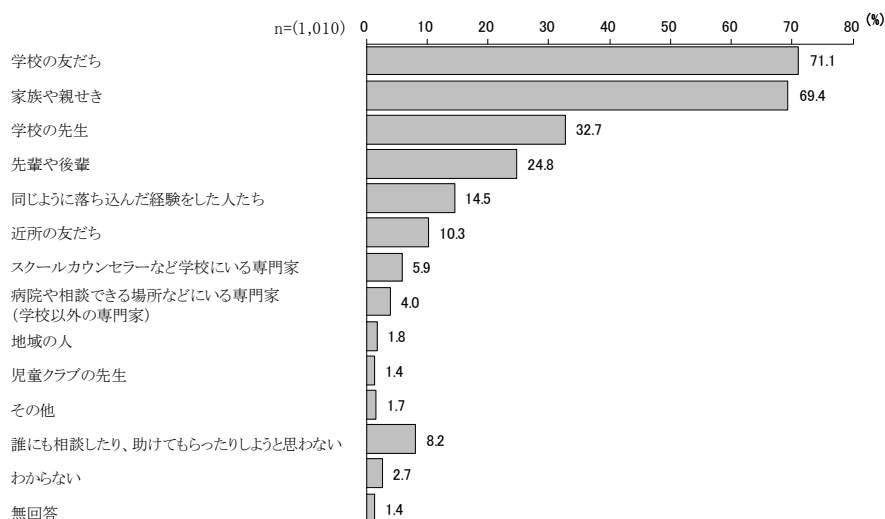
10～17 歳

18～39 歳

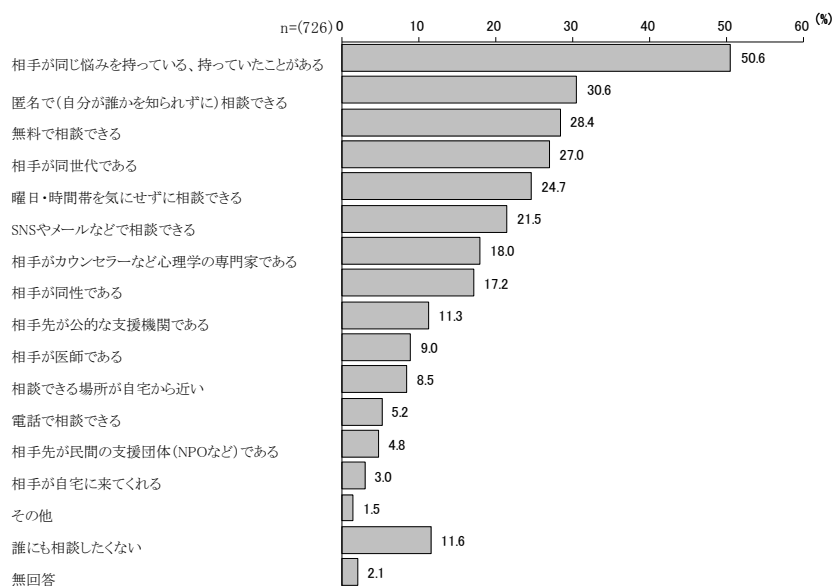
- ▶ 落ち込んだ時、相談したい人や場所について、10～17 歳では、「学校の友だち」が 71.1%と最も高く、次いで「家族や親せき」(69.4%)、「学校の先生」(32.7%)となっている。一方、8.2%が「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」と回答している。
- ▶ 18～39 歳では、「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が 50.6%と最も高く、次いで「匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる」(30.6%)、「無料で相談できる」(28.4%)となっている。一方、11.6%が「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」と回答している。

問 19 (問 15) あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。(○はいくつでも)
※10～17 歳については、家族や知り合いも含めて相談したい人、助けてもらいやすい人について尋ねています。

10～17 歳



18～39 歳



(19) 誰にも相談したくないと思う理由

10～17 歳

18～39 歳

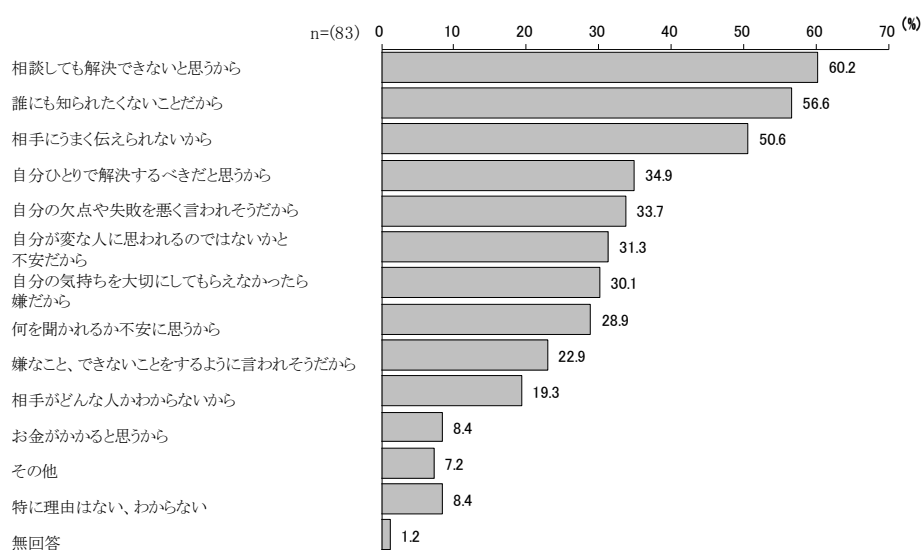
- ▶ 誰にも相談したくないと思う理由について、10～17 歳では、「相談しても解決できないと思うから」が 60.2%と最も高く、次いで「誰にも知られたくないことだから」(56.6%)、「相手にうまく伝えられないから」(50.6%)となっている。
- ▶ 18～39 歳では、「相談しても解決できないと思うから」が 56.0%と最も高く、次いで「相手にうまく伝えられないから」(26.2%)、「裏切られたり、失望するのが嫌だから」(22.6%)となっている。

【問 19 で「誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。】

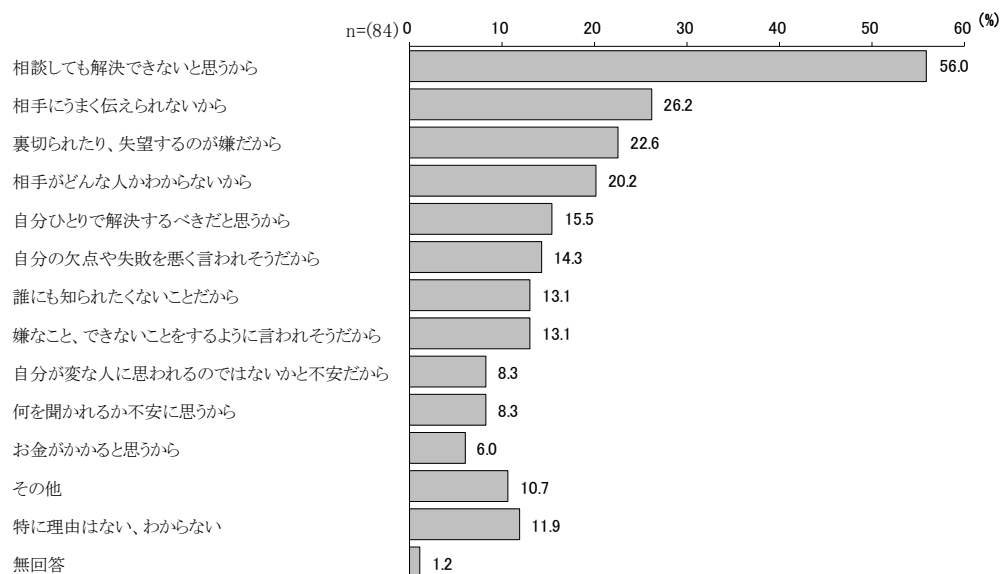
問 20 (問 16) 相談したくないと思う理由は何ですか。

(○はいくつでも)

10～17 歳



18～39 歳

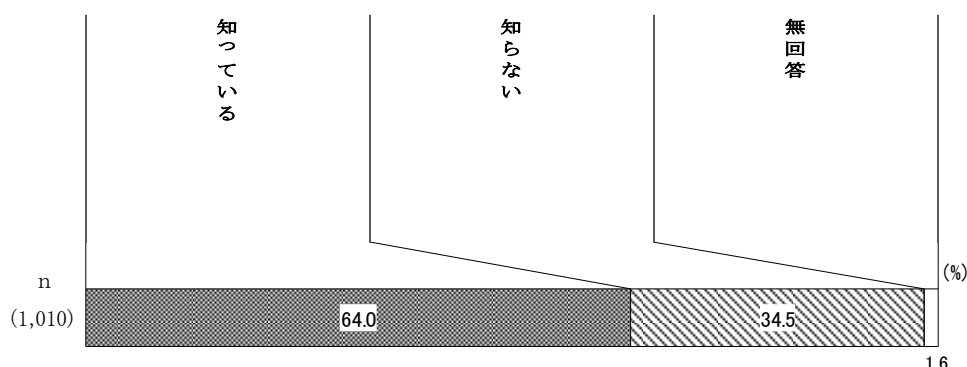


(20) 家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所を知っているか

10～17 歳

▶家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所を知っているかについて、「知っている」が 64.0%、「知らない」が 34.5%となっている。

(問 17) あなたは、家庭や学校以外で、悩みや困りごとなどを相談できる場所があることを知っていますか。(○は1つ)

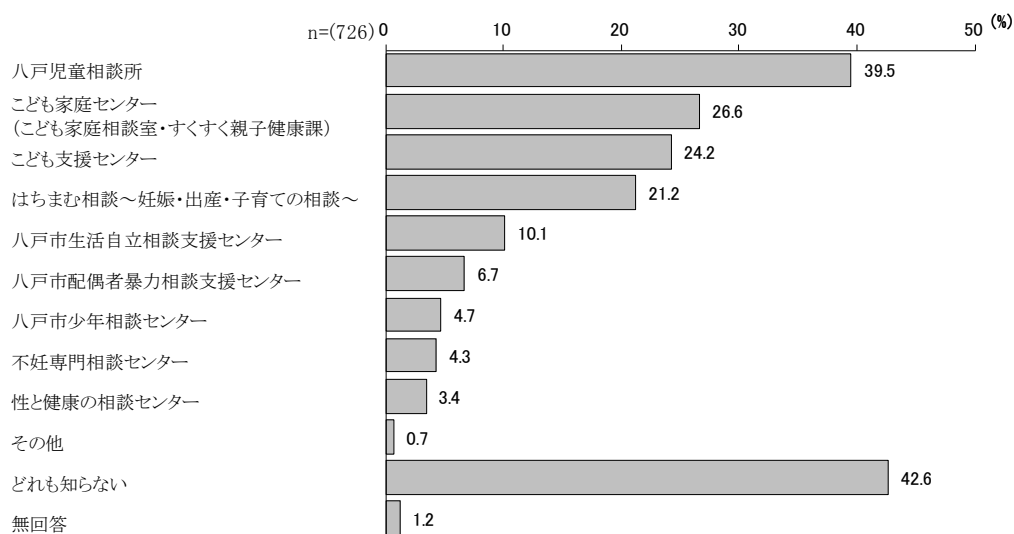


(21) こども・若者対象の相談支援機関等の認知度

18～39 歳

▶こども・若者対象の相談支援機関等の認知度について、「八戸児童相談所」が 39.5%と最も高く、次いで「こども家庭センター（こども家庭相談室・すくすく親子健康課）」(26.6%)、「こども支援センター」(24.2%)となっている。一方、42.6%が「どれも知らない」と回答している。

問 21 あなたは、こども・若者を対象とした相談支援機関等を知っていますか。知っている相談支援機関等をすべて選んでください。(○はいくつでも)



(22) こども・若者を対象とした相談支援機関等の利用状況

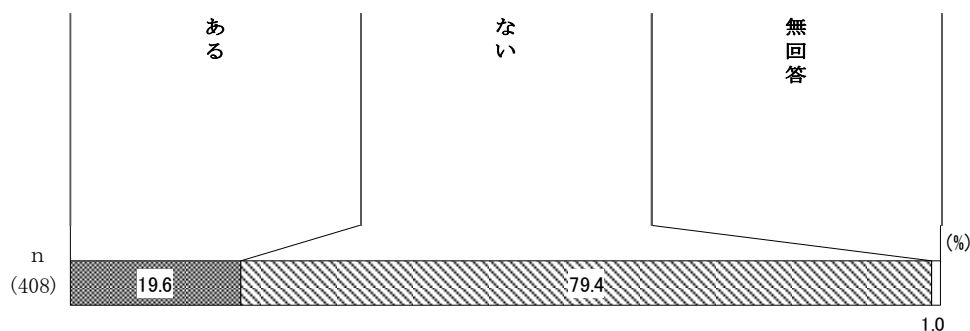
18～39 歳

▶こども・若者を対象とした相談支援機関等の利用状況について、「ない」が 79.4%、「ある」が 19.6%となっている。

【問 21 で「知っている相談支援機関等がある」方のみ、お答えください。】

問 22 これらの機関を利用したことはありますか。

(○は1つ)



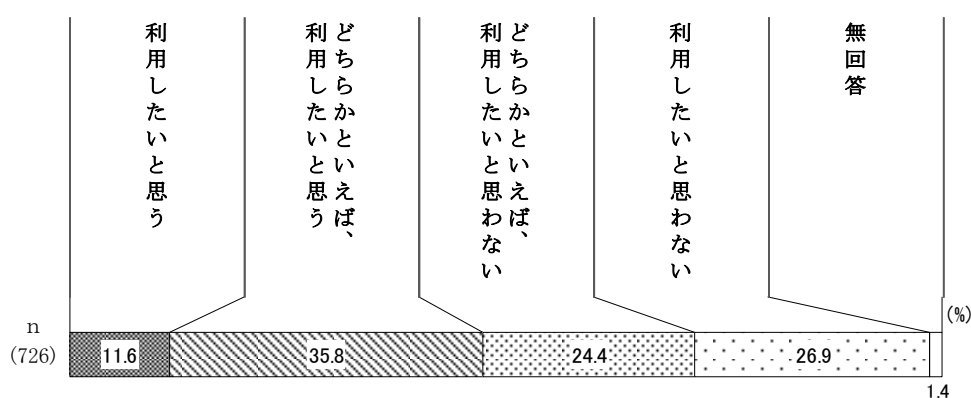
(23) こども・若者を対象とした相談支援機関等を利用したいと思うか

18～39 歳

▶こども・若者を対象とした相談支援機関等を利用したいと思うかについて、「利用したいと思う」(「利用したいと思う」+「どちらかといえば、利用したいと思う」)が 47.4%、「利用したいと思わない」(「利用したいと思わない」+「どちらかといえば、利用したいと思わない」)が 51.3%となっている。

問 23 問 21 にある機関等について利用したいと思いますか。

(○は1つ)



3 結婚に対する考え方について

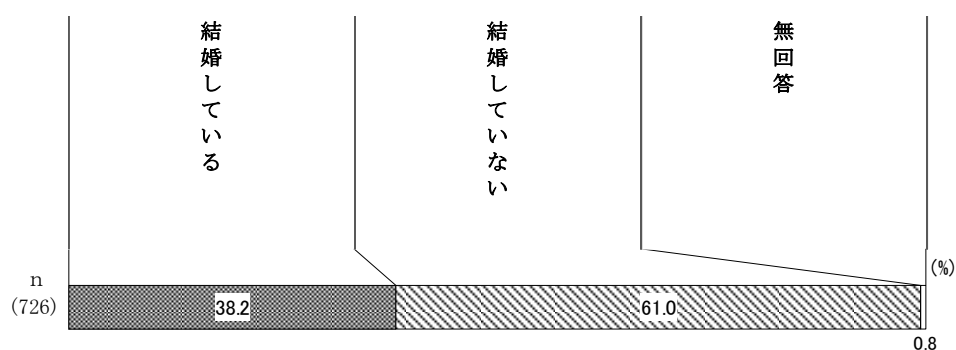
(1) 婚姻の状況

18～39 歳

▶婚姻の状況については、「結婚している」が 38.2%、「結婚していない」が 61.0%となっている。

問 24 あなたは現在、結婚（事実婚含む）していますか。

(○は1つ)



(2) 結婚に対する考え

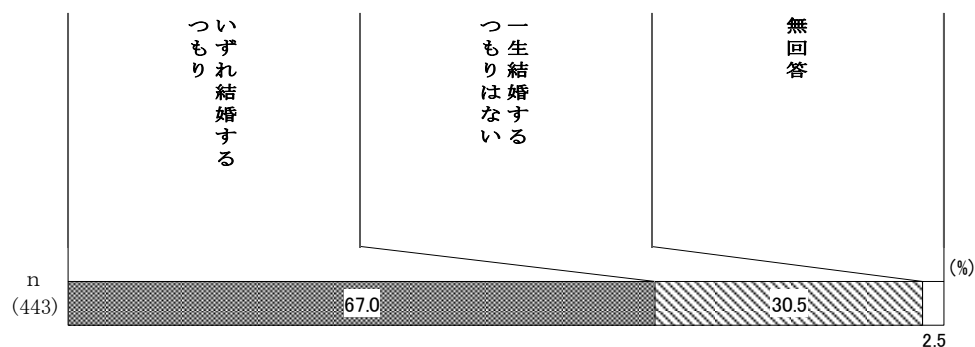
18～39 歳

▶結婚に対する考えについて、「いずれ結婚するつもり」が 67.0%、「一生結婚するつもりはない」が 30.5%となっている。

【問 24 で「結婚していない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 25 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対する考えは、次のどちらですか。

(○は1つ)



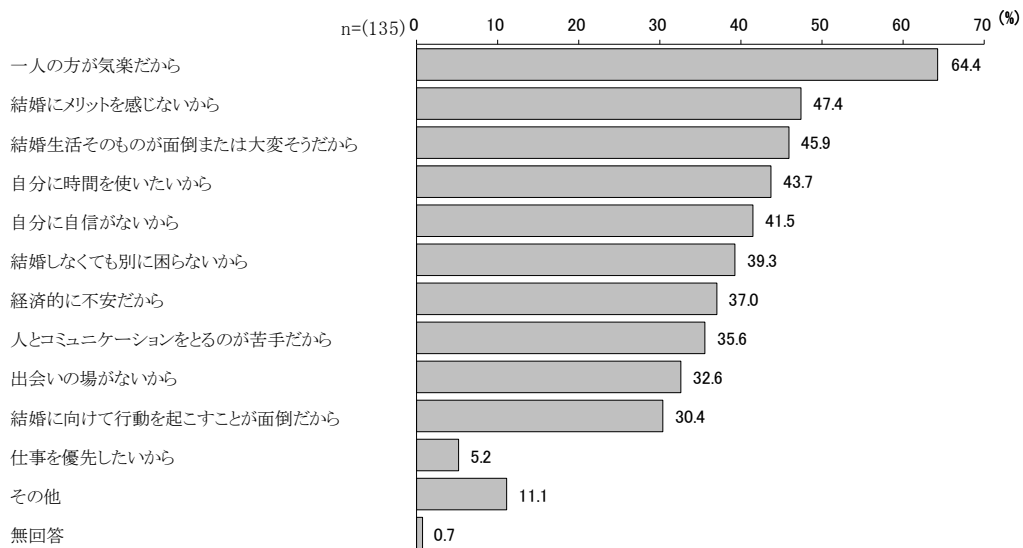
(3) 一生結婚するつもりがない理由

18～39 歳

▶ 一生結婚するつもりがない理由について、「一人の方が気楽だから」が 64.4%と最も高く、次いで「結婚にメリットを感じないから」(47.4%)、「結婚生活そのものが面倒または大変そうだから」(45.9%)となっている。

【問 25 で「一生結婚するつもりはない」を選んだ方のみ、お答えください。】

問 26 結婚するつもりがないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

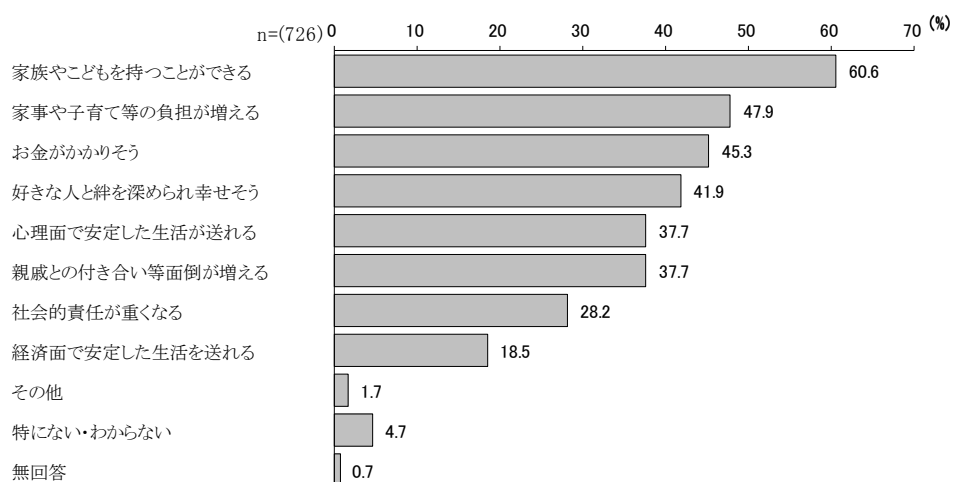


(4) 結婚に対するイメージ

18～39 歳

▶ 結婚に対するイメージについて、「家族やこどもを持つことができる」が 60.6%と最も高く、次いで「家事や子育て等の負担が増える」(47.9%)、「お金がかかりそう」(45.3%)となっている。

問 27 あなたは、結婚に対してどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

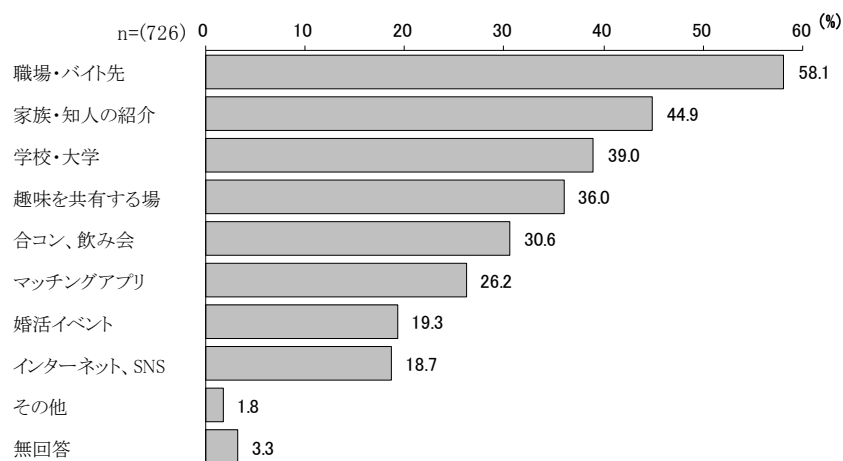


(5) 結婚につながると思う出会いのシーン

18～39 歳

▶結婚につながると思う出会いのシーンについて、「職場・バイト先」が 58.1%と最も高く、次いで「家族・知人の紹介」(44.9%)、「学校・大学」(39.0%) となっている。

問 28 あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか。
※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけをお選びください。(〇はいくつでも)



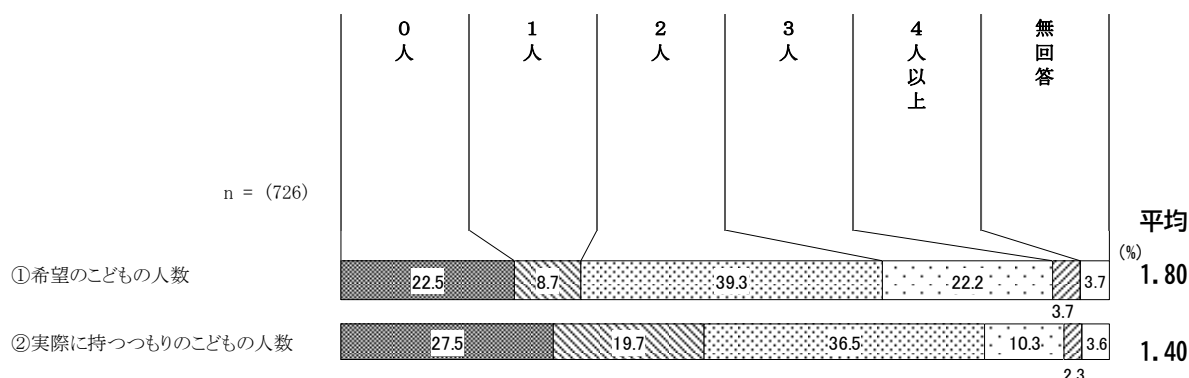
4 子育てに対する考え方について

(1) こどもを持つことについて

18～39 歳

▶こどもを持つことについては、希望・実際ともに「2人」が最も高くなっている。平均をみると、希望は1.80人、実際は1.40人となっており、ギャップが見られる状況となっている。

問 29 あなたにとって「①希望のこどもの人数」と「②実際に持つつもりの子どもの人数」は何人ですか。※お子さんがおられる方は、②実際に持つつもりの子どもの人数に現在のお子さんの数も含めて人数を記入してください。※お子さんを持つつもりがない方は、①②に0人と記入してください。（数字でご記入ください。）



(2) どのような環境が整えばもう1人以上のこどもを持ちたいか

18～39 歳

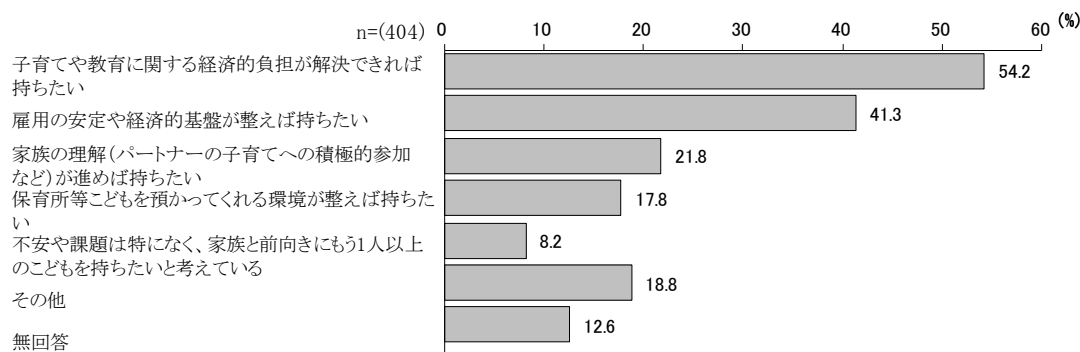
▶どのような環境が整えばもう1人以上のこどもを持ちたいと思うかについては、「子育てや教育に関する経済的負担が解決できれば持ちたい」が54.2%と最も高く、次いで「雇用の安定や経済的基盤が整えば持ちたい」(41.3%)、「家族の理解（パートナーの子育てへの積極的参加など）が進めば持ちたい」(21.8%)となっている。

【問 29 で、①と②ともに「0人」と回答した方や、問 29 で、②実際に持つつもりの子どもの数より、①希望のこども数が多い方のみ、お答えください。】

※例：②実際に持つつもりの子どもの数が2人、①希望のこども数が3人 など

問 30 どのような環境が整えばもう1人以上のこどもを持ちたいと思いますか。

(○はいくつでも)

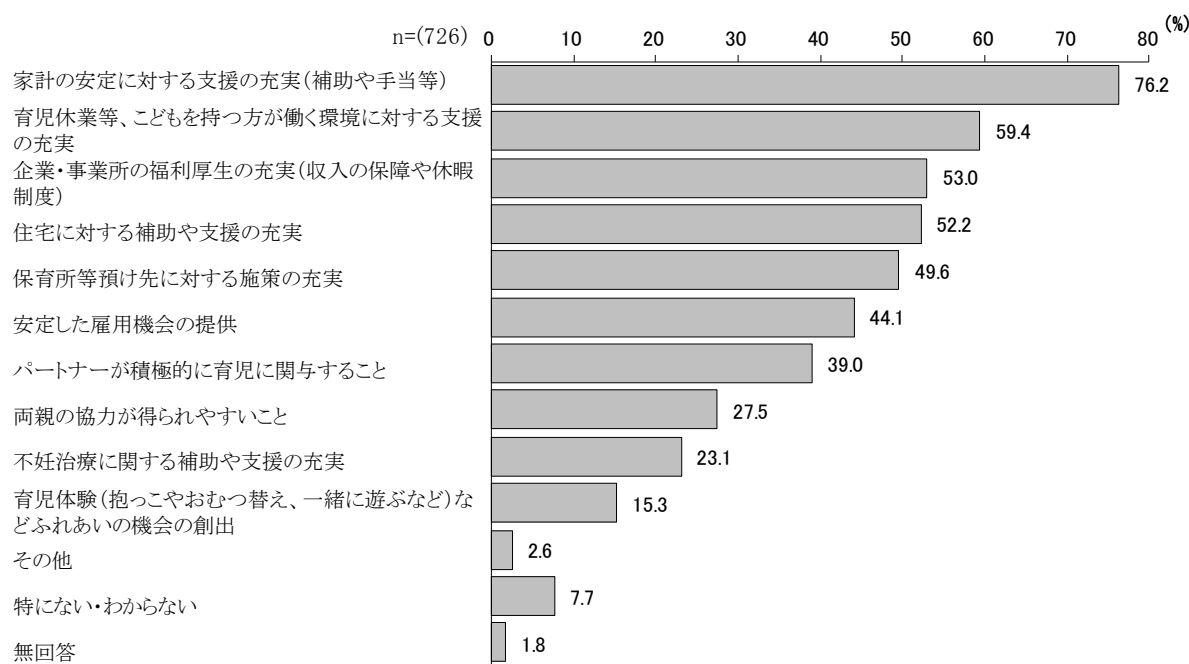


(3) こどもを持つことや子育てに対して前向きになれる要素や行政に求める支援施策

18～39 歳

▶こどもを持つことや子育てに対して前向きになれる要素や行政に求める支援施策について、「家計の安定に対する支援の充実（補助や手当等）」が76.2%と最も高く、次いで「育児休業等、こどもを持つ方が働く環境に対する支援の充実」（59.4%）、「企業・事業所の福利厚生（収入の保障や休暇制度）」（53.0%）となっている。

問 31 こどもを持つことや子育てに対して前向きになれると思う要素や行政に求める支援施策は何ですか。（〇はいくつでも）



5 八戸市やこどもまんなか社会について

(1) 八戸市に今後も住み続けたいか

10～17 歳

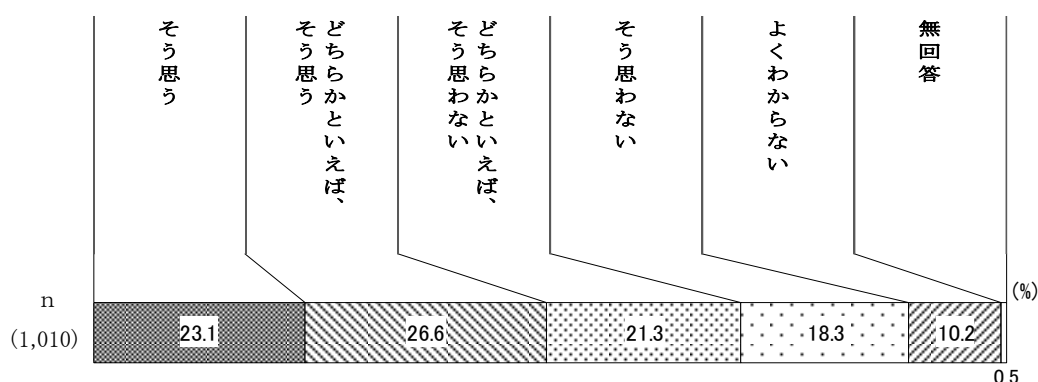
18～39 歳

▶八戸市に今後も住み続けたいかについては、10～17 歳では、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が 49.7%、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）が 39.6%となっている。

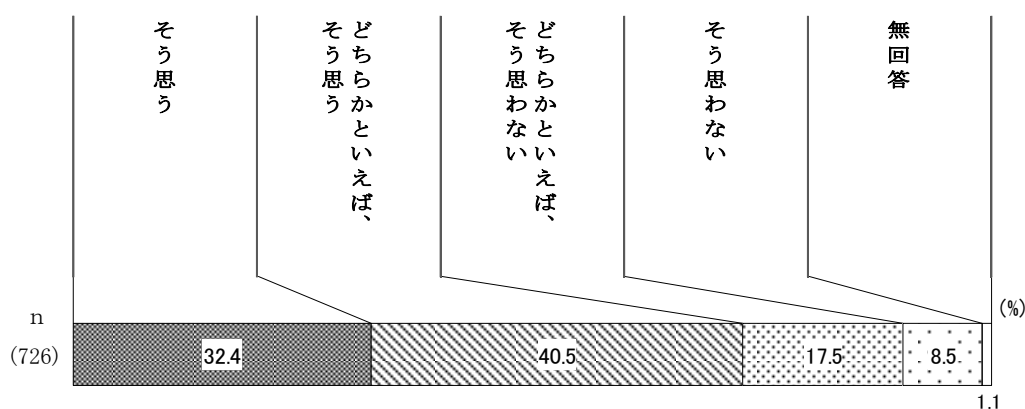
▶18～39 歳では、《そう思う》が、72.9%、《そう思わない》が、26.0%となっている。

問 32（問 18）あなたは八戸市に今後も住みたいと思いますか。または、一時期市外に転出してても将来的に八戸市に住みたいと思いますか。（○は1つ）

10～17 歳



18～39 歳



(2) 八戸市の良いと思うところ、力を入れてほしいところ

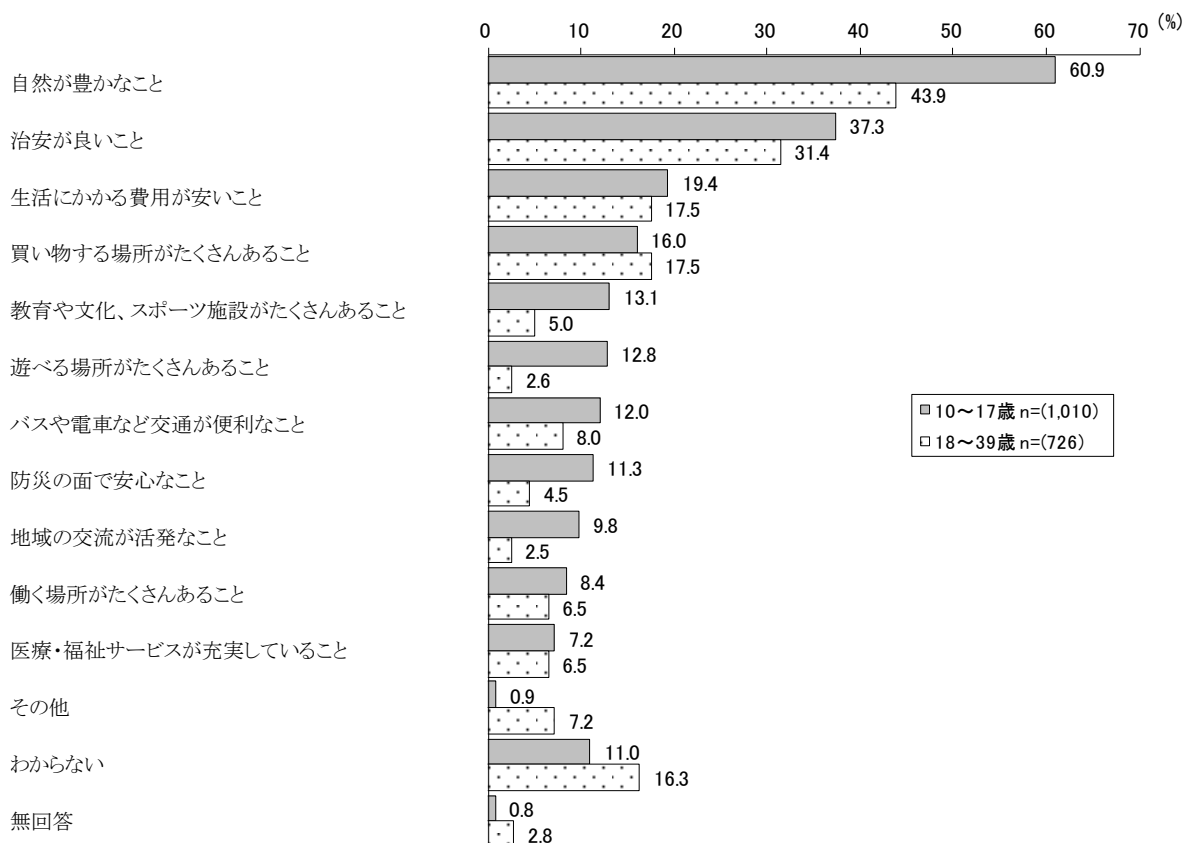
10～17 歳

18～39 歳

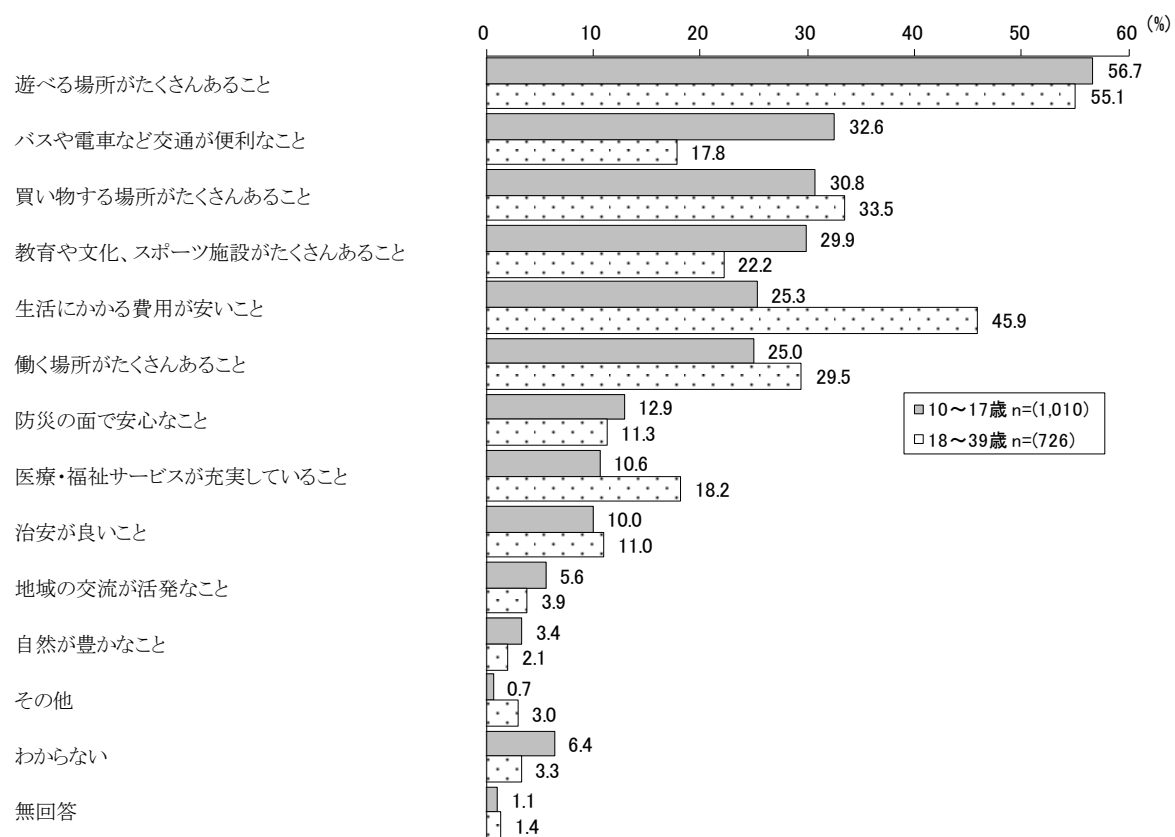
- ▶ 八戸市の良いと思うところについて、10～17 歳では、「自然が豊かなこと」が 60.9%と最も高く、次いで「治安が良いこと」(37.3%)、「生活にかかる費用が安いこと」(19.4%)となっている。
- ▶ 18～39 歳では、「自然が豊かなこと」が 43.9%と最も高く、次いで「治安が良いこと」(31.4%)、「生活にかかる費用が安いこと」「買い物する場所がたくさんあること」(ともに 17.5%)となっている。
- ▶ 八戸市に力を入れてほしいところについては、10～17 歳では、「遊べる場所がたくさんあること」が 56.7%と最も高く、次いで「バスや電車など交通が便利なこと」(32.6%)、「買い物する場所がたくさんあること」(30.8%)となっている。
- ▶ 18～39 歳では、「遊べる場所がたくさんあること」が 55.1%と最も高く、次いで「生活にかかる費用が安いこと」(45.9%)、「買い物する場所がたくさんあること」(33.5%)となっている。

問 33 (問 19) 八戸市の①良いと思うところ ②力を入れてほしいところはなんですか。
(それぞれ〇は3つまで)

①良いと思うところ



②力を入れてほしいところ



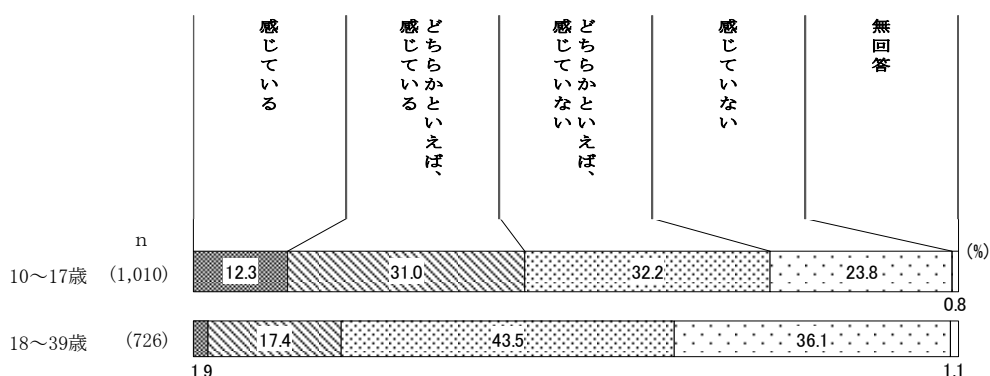
(3) 遊び・娯楽や体験活動の機会の場が十分にあると感じているか

10～17 歳

18～39 歳

- ▶こどもや若者の遊び・娯楽や体験活動の機会の場が十分にあると感じているかについて、10～17 歳では、《感じる》（「感じる」+「どちらかといえば、感じる」）が 43.3%、《感じていない》（「感じていない」+「どちらかといえば、感じていない」）が 56.0%となっている。
- ▶18～39 歳では、《感じる》が 19.3%、《感じていない》が 79.6%となっている。

問 34（問 20）あなたは地域の中で、こどもや若者の遊び・娯楽や体験活動の機会の場が十分にあると感じていますか。（○は1つ）

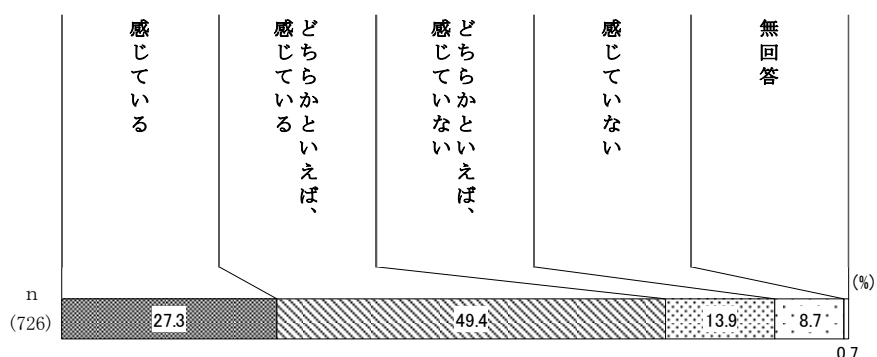


(4) 八戸市に愛着や親しみを感じているか

18～39 歳

- ▶八戸市に愛着や親しみを感じているかについて、《感じる》（「感じる」+「どちらかといえば、感じる」）が 76.7%、《感じていない》（「感じていない」+「どちらかといえば、感じていない」）が 22.6%となっている。

問 35 あなたは八戸市に愛着や親しみを感じていますか。（○は1つ）



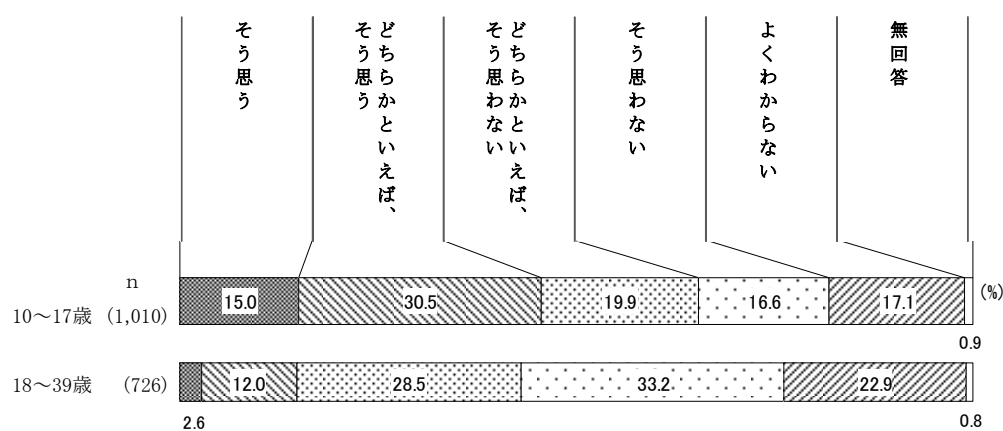
(5) 自分の意見を聴いてもらえていると思うか

10～17 歳

18～39 歳

- ▶ 自身の意見を聴いてもらえていると思うかについて、10～17 歳では、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が 45.5%、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）が 36.5%となっている。
- ▶ 18～39 歳では、《そう思う》が 14.6%、《そう思わない》が 61.7%となっている。

問 36（問 21）あなたは若者に関する取り組みについて、自身の意見が聴いてもらえていると思いますか。（○は1つ）



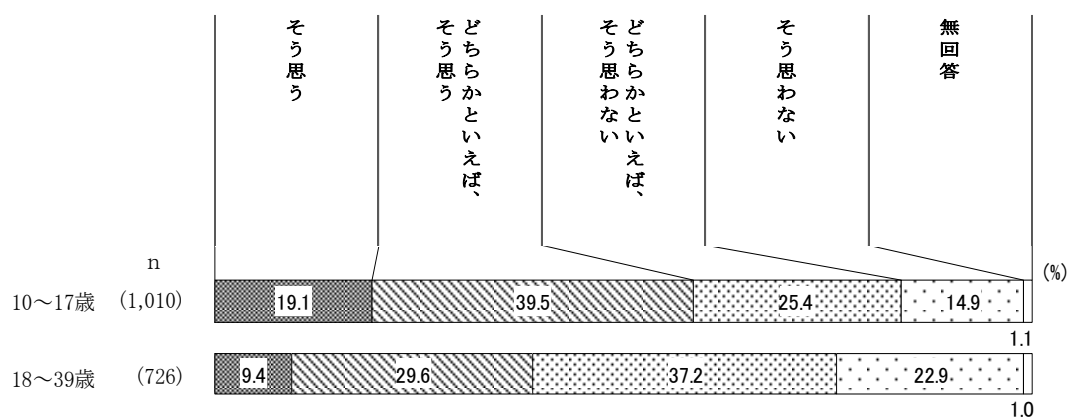
(6) 市や学校、地域の取り組みに対して、意見を言ったり意思決定に参加したいと思うか

10～17 歳

18～39 歳

- ▶市や学校、地域の取り組みに対して、意見を言ったり意思決定に参加したいと思うかについて、10～17 歳では、《そう思う》（「そう思う」+「どちらかといえば、そう思う」）が 58.6%、《そう思わない》（「そう思わない」+「どちらかといえば、そう思わない」）が 40.3%となっている。
- ▶18～39 歳では、《そう思う》が 39.0%、《そう思わない》が 60.1%となっている。

問 37（問 22）あなたは、市や学校、地域の取り組みに対して、自分の意見を言ったり、意思決定に参加したいと思いますか。（○は1つ）



(7) こども・若者の意見が市の取り組みやまちづくりに反映されるために、どのような取り組みがあるとよいと思うか

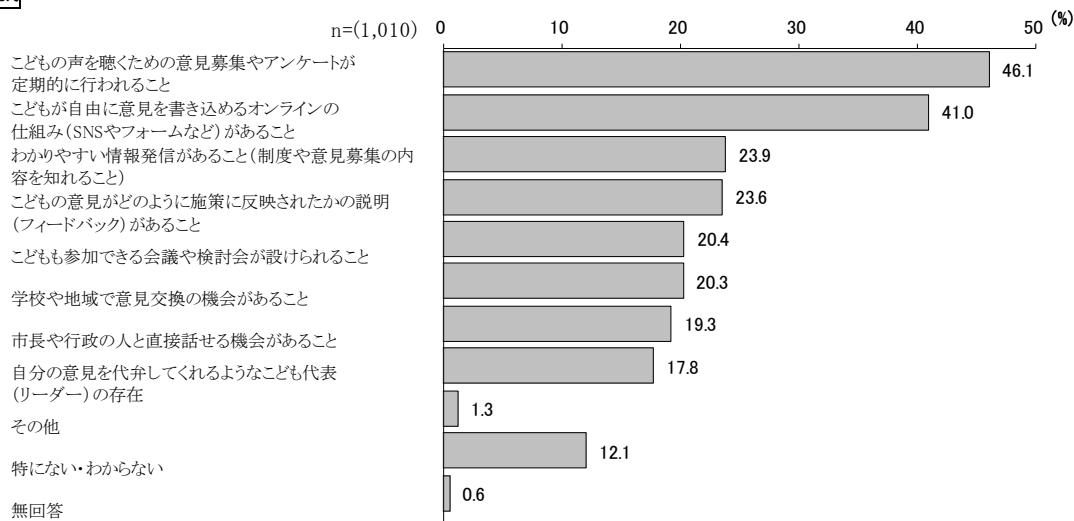
10～17 歳

18～39 歳

- ▶こども・若者の意見が市の取り組みやまちづくりに反映されるために、どのような取り組みがあるとよいと思うかについて、10～17 歳では、「こどもの声を聴くための意見募集やアンケートが定期的に行われること」が 46.1%と最も高く、次いで「こどもが自由に意見を書き込めるオンラインの仕組み（SNS やフォームなど）があること」（41.0%）、「わかりやすい情報発信があること（制度や意見募集の内容を知れること）」（23.9%）となっている。
- ▶18～39 歳では、「若者が自由に意見を書き込めるオンラインの仕組み（SNS やフォームなど）があること」が 49.6%と最も高く、次いで「若者の意見がどのように施策に反映されたかの説明（フィードバック）があること」（48.5%）、「わかりやすい情報発信があること（制度や意見募集の内容を知れること）」（36.0%）となっている。

問 38（問 23）こども・若者の意見が市の施策やまちづくりに反映されるためには、どのような取り組みがある
とよいと思いますか。（○は3つまで）

10～17 歳



18～39 歳

